



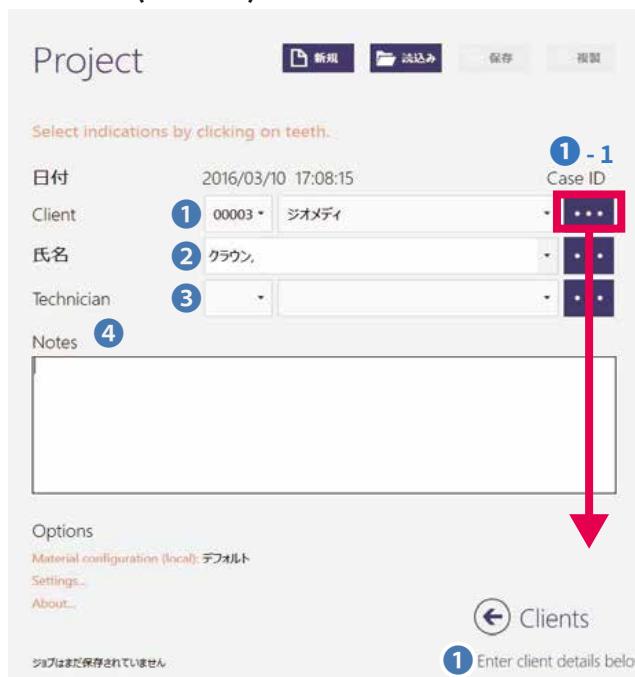
# exocad

DentalDB 2.2 Valletta

① クラウンのデザイン-----	2p
① 指示書(注文書)の作成-----	2~4p
② デザイン・マージンラインの作成-----	5~6p
③ 内面の設定 -----	6p
④ 歯牙モデルの読み込み -----	7p
⑤ 歯牙モデルの配置 -----	8p
⑥ 歯牙モデルの外形調整 -----	9p
⑦ 咬合 / 隣在関係の適用-----	10p
⑧ 歯牙にテキストを追加する-----	11p
② コーピングのデザイン-----	12~15p
③ ブリッジのデザイン-----	16~21p
④ ワックスアップのデザイン-----	22~24p
⑤ フルクラウンのデザイン-----	25~33p

## ① クラウンのデザイン

### ① 指示書(注文書)の作成



- ① Client: 取引先名を入力 \*必須  
①-1: Client リスト (下の図を参照)
- ② 氏名: 患者名を入力 \*必須  
\*入力後は必ず Enter を押すこと
- ③ Technician: 作業者を入力
- ④ Notes: メモ (Implant System、シェードなど)

① Enter client details below

名前: ジオメディ

番地名:

市町村:

国: 言語:

E-mail:

ID:

② New

Add a new client "GEOMEDI" without closing this window.

① Clients

Enter client details below

名前: ジオメディ

番地名:

市町村:

国: 言語:

E-mail:

ID:

② Accept

Add a new client and close this window.

① Clients

ID	名前
1	Default
2	Geomedi
3	ジオメディ

② Accept

Select this client and close this window.

① Clients

ID	名前
1	Default
2	Geomedi
3	ジオメディ

② Accept

Select this client and close this window.

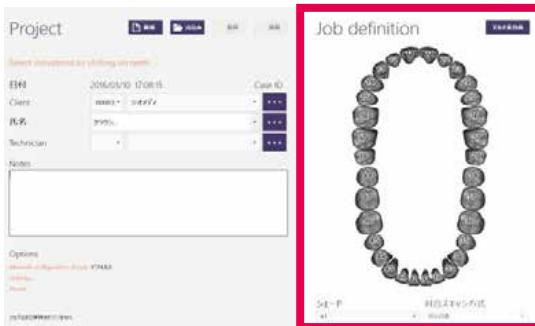
### \*リストに追加する場合

- ① に情報(名前など)を入力
- ↓
- ② 「+New」をクリック

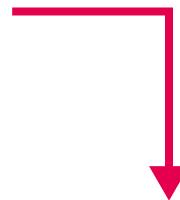
### \*リストから読み込みをする場合

- ① リストから読み込みをする
- 名前をクリック
- ↓
- ② 「Accept」をクリック  
(リストから選択後、ダブルクリックでもOK)

## ① クラウンのデザイン



作業する歯牙の番号をクリック



**Tooth 26 Material configuration (local) デフォルト**

- クラウン/コーピング
  - フルクラウン ✓
  - アノミカルコーピング
  - オーバープレスクラウン
  - シンルコピング
  - プロビジョナルクラウン
  - フレームクラウン
- ポンティック
  - アノミカルポンティック ✓
  - カットバックポンティック
  - オーバープレスピオンティック
  - プロビショナルポンティック
- インレー/ベニア
  - インレー/オーラー
  - オフセットインレー
  - ベニア
- ワックスアップ
  - フルワックスアップ
  - カットバックワックスアップ
  - ワックスアップポンティック
- プライマリーユニット
  - バーピー
  - バーセグメント
  - プライマリータッチメント
- 器具ドリムーバブル
  - バイトスプリント
  - バイトスプリント(欠損面)
  - 全部歯面曲
- 残存歯牙/歯列
  - 対合
  - 残在歯/正常歯 ✓
  - 欠損歯



「補綴物」の選択 → 「材料」の選択 → 「詳細設定」→「OK」

\*隣在歯 / 対合歯の設定



## 詳細設定

「インプラント」：なし

「分割処置前スキャン」

- ・はい：診断モデル（プロビジョナルモデル）がある場合

## 「歯肉計測」

- ・はい：歯肉がある場合

- ・いいえ：歯肉がない場合

\*隣在歯 / 対合歯の番号をクリック



\*隣在歯 / 対合歯を選択

## \*「最少厚み」 / 「セメントスペース」

：この段階で設定する数値は現在に作業している取引先の基本値で、各デザインの過程でも設定可能

## 「仮想歯肉をデザインしますか？」

- ・いいえ（エキスペートモードのみで設定可能）

- ・オプション（ウィザードモード）

- ・必須（ウィザードモード）：作業手順で表示される

## ① クラウンのデザイン

**Project**

1 保存

日付: 2016/03/10 17:08:15 Case ID: 00003

Client: ジオメディ

氏名: クラウン

Technician:

Notes:

Options:

- Material configuration (local), デフォルト
- Settings...
- About...

ジョブはまだ保存されていません

・対合スキャン方式  
対合歯がある場合は必ず設定する

①「咬合印象」: バイト(印象)がある場合  
②「咬合状態の顎模型(咬合器を含まず)」: 咬合器なし  
③「タイプ A/S/P」: 咬合器使用 (Artex、Sam、Kavoなど)  
④「タイプ Denar」: 咬合器使用 (Denar)  
⑤「タイプ Bio-Art」: 咬合器使用 (Bio-Art)  
⑥「Two stone models in articulator Parnadent PCH」  
: 咬合器使用 (Parnadent)

\* 咬合器を使用してスキャンする際には③④⑤⑥のどれかを選択

**Job definition**

マルチ支台周

Actions

2 スキャン

Scanner Calibration

Free Scan

3 デザイン

製造

Model Creator

デンタルシェア

コピー

＊

対合スキャン方式

シェード: A1

タイプ A

タイプ S

タイプ P

タイプ Denar

タイプ Bio-Art

Two stone models in articulator Panadent PCH

デジタル印象スキャン

咬合状態の顎模型(咬合器を含まず)

指示の設定後は必ず①「保存」をクリック



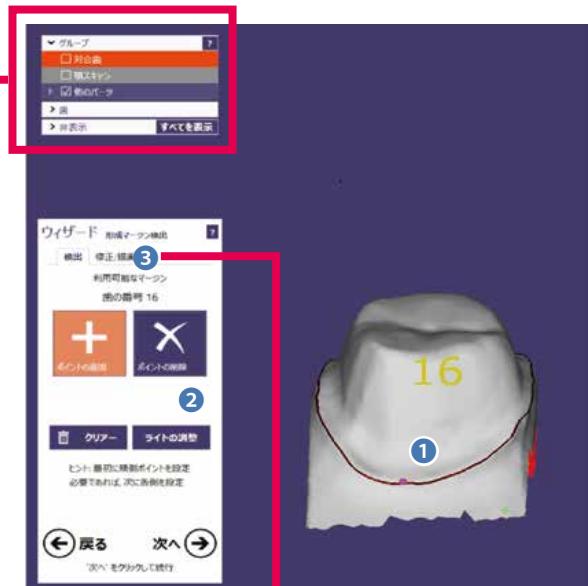
②「スキャン」をクリックして、スキャンを実行



スキャン終了後、③「デザイン」をクリック

## ① クラウンのデザイン

## ② デザイン・マージンラインの設定



① マージン部位の 1 ポイントをクリック

\*マージンラインが正しく認識されない場合  
：マージン部位にポイントを追加

\*ポイントを削除する場合：②「ポイントの削除」を選択して  
削除するポイントをクリック



\*認識されたマージンラインを修正する場合

：③「修正 / 描画」をクリック

↓

各ポイント（緑）を動かして、マージンラインを修正

マージンラインの設定が終わったら、

④「次へ」をクリックして、次の段階に進む



\*\* Tip \*\*

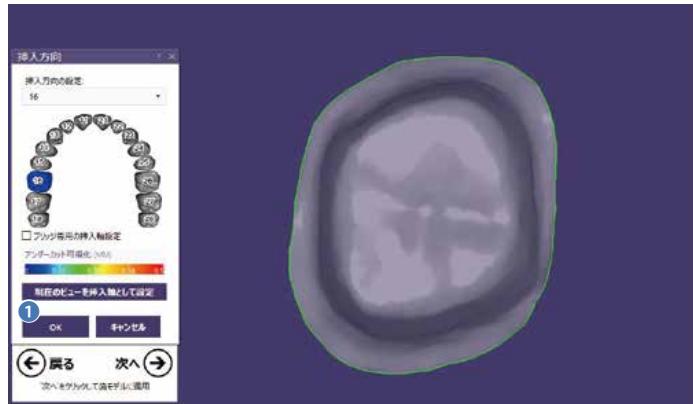
画面に表示 / 非表示するデータの選択が可能  
各段階で必要なデータだけを画面に表示して  
より便利に作業ができる

## ① クラウンのデザイン

## 挿入方向の設定

\*ほとんどの場合、自動で適切な挿入方向を設定するので、省略される

但し、3 / 4 軸の機械でミリングする場合とインレーの作業時は挿入方向を確認する必要がある

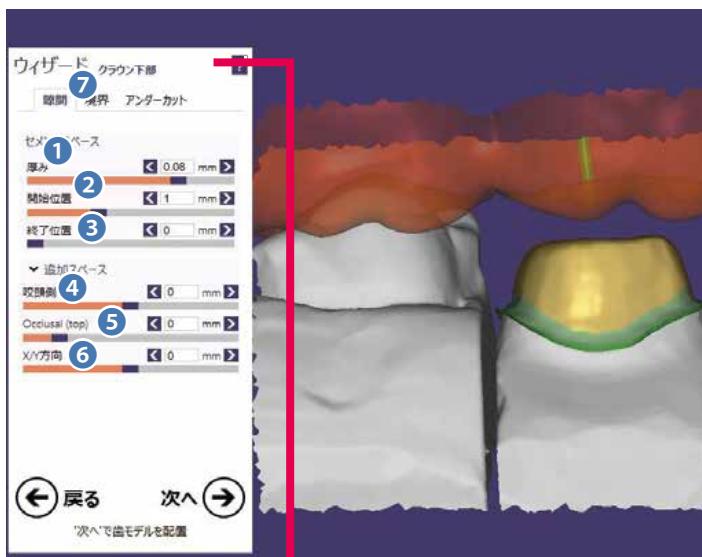


適切な挿入方向に支台歯を回転させ

①「現在のビューを挿入軸として設定」をクリック  
設定した挿入方向により発生するアンダーカットは  
違う色で表示される

アンダーカットを考慮して挿入方向を設定する

## ③ 内面の設定 (セメントスペース)



## ・セメントスペース

- ①「厚み」：セメントスペースの厚み 数字を入力するか  
スライダーを動かす  
(単冠の場合 0.02mm~0.05mmの程度)
- ②「開始位置」：マージンラインからセメントスペースを  
与えない範囲を設定
- ③「終了位置」：咬合面からセメントスペースを与えない  
範囲を設定  
(②と③の部分は画面上に緑色で表示される)

## ・追加スペース

- (①で設定したセメントスペースに部分的に追加でセメントスペースを設定)
- ④「咬頭側」⑤「Occlusal (top)」：咬合面の方向にセメントスペースを追加で設定
  - ⑥「X / Y 方向」：X 軸 / Y 軸 (近心 / 遠心) 方向にセメントスペースを追加で設定

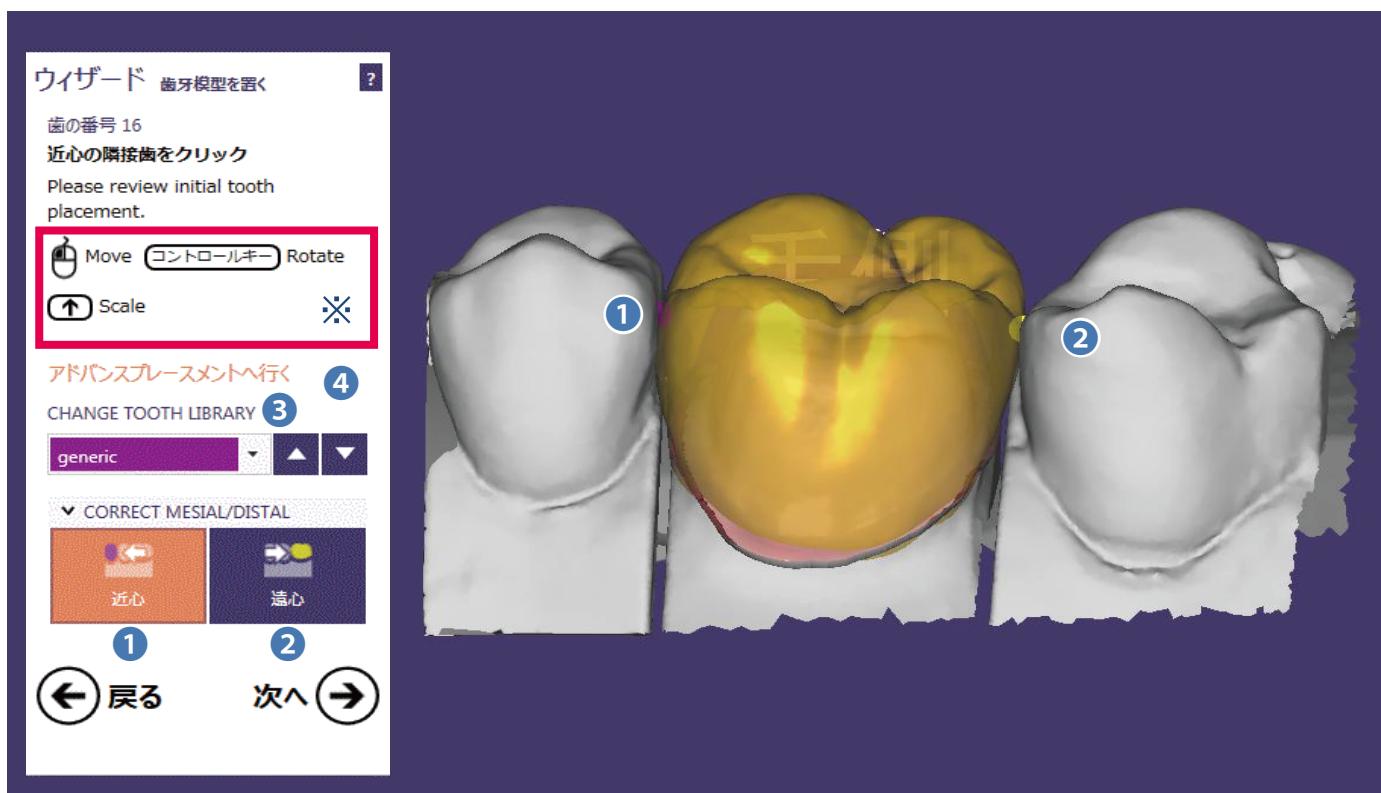


## ・境界 (⑤ 参照)

- ①「オフセット」：マージン部の水平幅を設定
- ②「拡張オフセット」：③で設定した角度の長さを設定
- ③「オフセット角度」：マージン部の角度を設定
- ④「垂直オフセット」：マージン部の垂直長さを設定

内面の設定が終わったら、⑥「次へ」をクリックして、  
次の段階に進む

## ④ 歯牙モデルの読み込み



①「近心」、②「遠心」をクリックすると、クリックした近 / 遠心に合わせて歯牙モデルが表示される

\*歯牙モデルを変更する場合：

③ をクリックして、好みの歯牙モデルの読み込みができる (Ctrl+ マウスホイールでも変更可能)

④「アドバンスプレースメントへ行く」をクリックすると次の項目である「歯牙モデルの配置」に進む

歯牙モデルの読み込みが終わり、配置の調整が必要ない場合は④「次へ」をクリックして、次の段階へ進む

「※」は配置調整

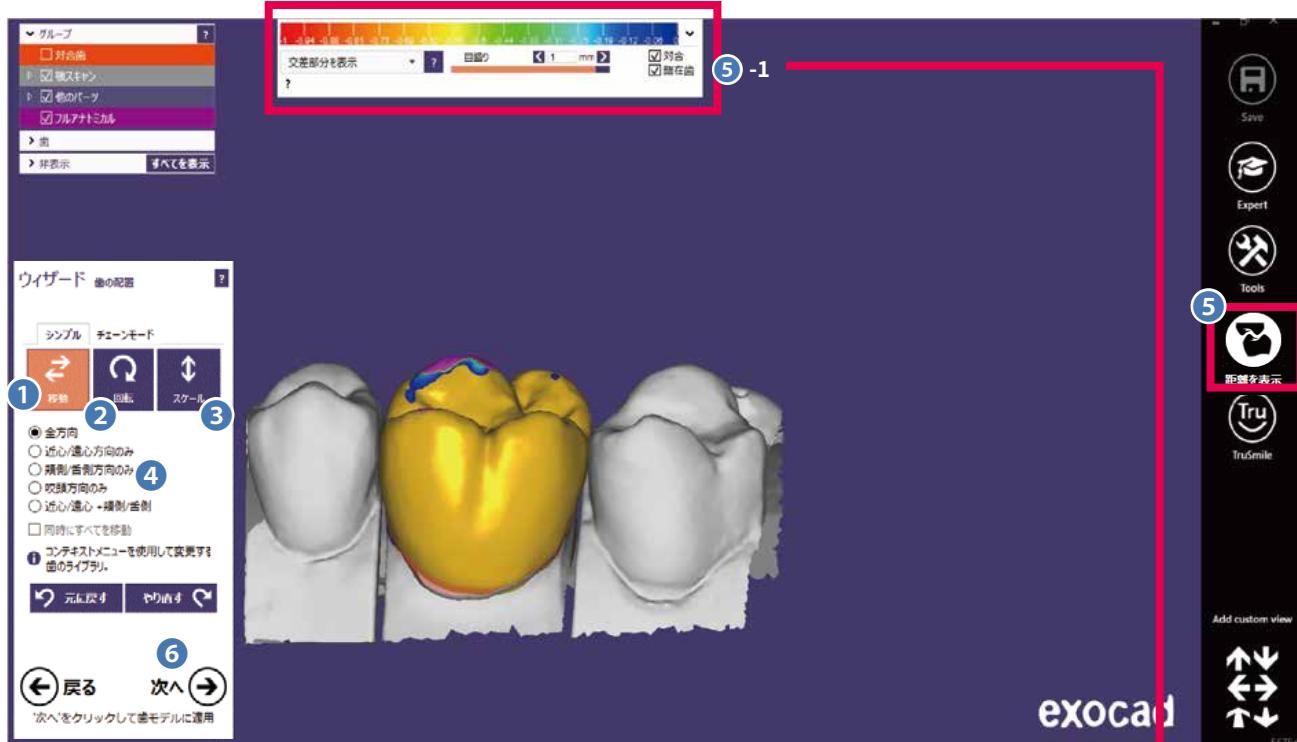
移動：マウスでドラッグ

回転：Ctrl キー (キーボード) を押しながらドラッグ

スケール：Shift キー (キーボード) を押しながらドラッグ

## ① クラウンのデザイン

## ⑤ 歯牙モデルの配置



- ①「移動」：歯牙モデルの移動。歯牙モデルをドラックして動かす
- ②「回転」：歯牙モデルの回転。歯牙モデルをドラックして角度を調整
- ③「スケール」：歯牙モデルのサイズを変更、歯牙モデルをドラックしてサイズを調整
- ④：歯牙モデルの移動 / サイズ調整方向の設定

\*簡単操作(①「移動」を選択した状態で)

「Ctrl」+マウス：②「回転」

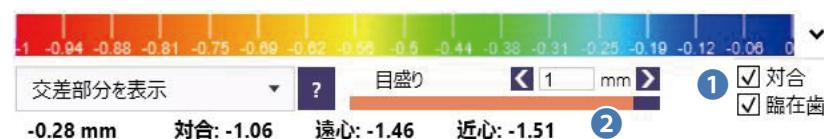
「Shift」+マウス：③「スケール」

### \*\* Tip \*\*

歯牙モデルの配置段階では、必ず⑤「距離を表示」をクリックして

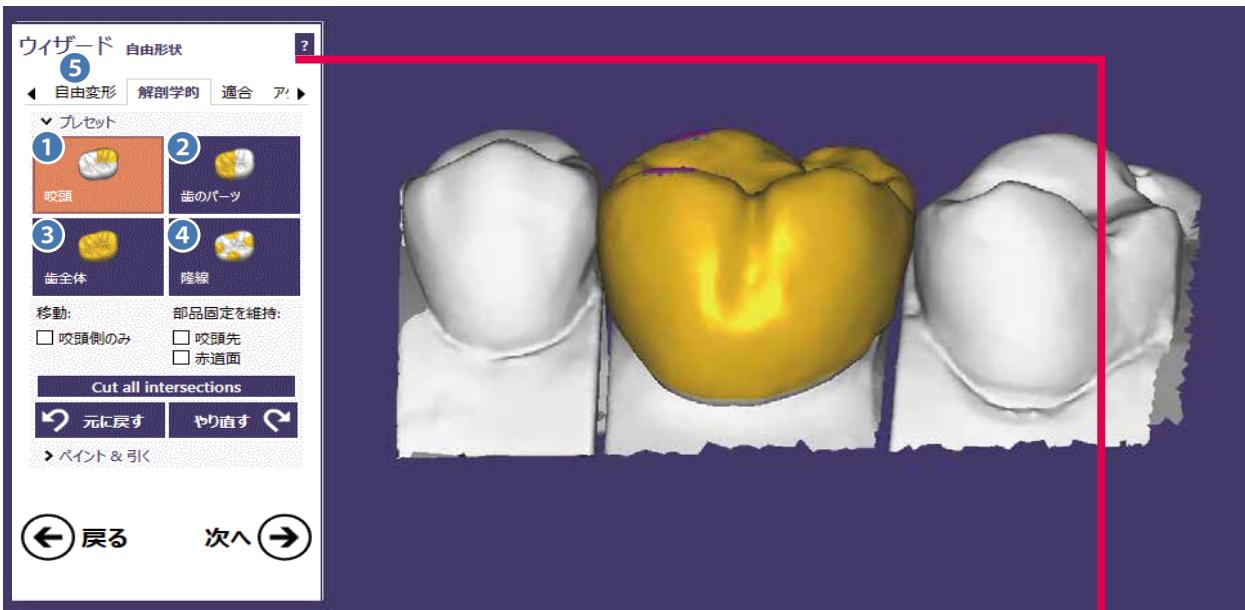
対合歯 / 隣在歯との関係を参考して作業する

- ⑤「距離を表示」：対合歯 / 隣在歯間の距離を色で表示



歯牙モデルの配置が終わったら、⑥「次へ」をクリックして、次の段階へ進む

## ⑥ 歯牙モデルの外形調整



## ・形態調整（解剖学的）

- ①「咬頭」：各咬頭部の調整
- ②「歯のパート」：近心／遠心、舌／頬側を調整 隣接面などの接触部分の調整に便利
- ③「歯全体」：歯牙モデルの全体を調整
- ④「隆線」：隆線の形態を調整

## ・外形調整（自由変形）

- 実際のワックスアップと同じ機能で仮想のワックス彫刻刀を利用した修正
- ①「追加 / 削除」：面の追加または削除（クリック：追加 / 「Shift」+マウス：削除）
- ②「平滑化 / 平面化」：面を平らにまたは滑らかにする  
(Shift + マウス：強力な平坦化 Ctrl + マウス：外形は維持して表面を滑らかにする)
- ③「Strength」：①・②の強度（Ctrl + マウスホイール）
- ④「Brush Size」：彫刻刀のサイズ（Shift + マウスホイール）
- ⑤「Type」：彫刻刀の形態
- ⑥「Cut all intersections」：対合歯、歯肉及び隣在歯との交差を切断

## \*咬合面の溝の表現

：⑤ - 1 + ①「削除」

彫刻刀の形態を⑤ - 1 に設定し、①「削除」機能「(Shift + マウス)」で表現

## \*\* Tip \*\*

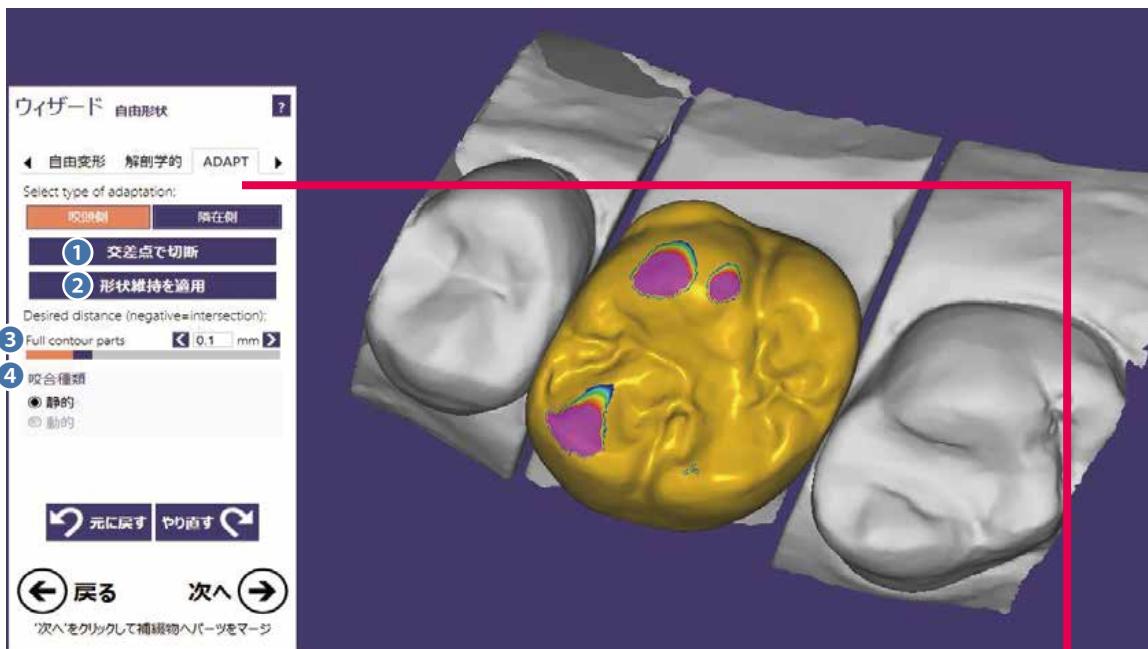
必ず「距離を表示」をクリックして

対合歯 / 隣在歯との関係を参考しながら、作業する

外形調整が終わったら、⑦「次へ」をクリックして、次の段階へ進む



## ⑦ 咬合 / 隣在歯の適用



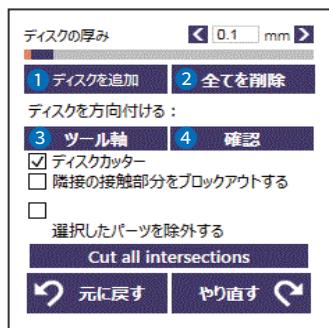
## ・咬合側

- ①「交差点で切断」：接触面を単純にカット
- ②「形状維持を適用」：歯牙の外形を維持して、接触面を調整
- ③「Full contour parts」：歯牙モデルと対合歯間の距離を設定
- ④「咬合種類」：咬合運動時の咬合関係を確認（Virtual Articulator Module 必要）
  - 静的：静的咬合 / C.O. 状態での咬合
  - 動的：動的咬合 / 下顎運動時の咬合

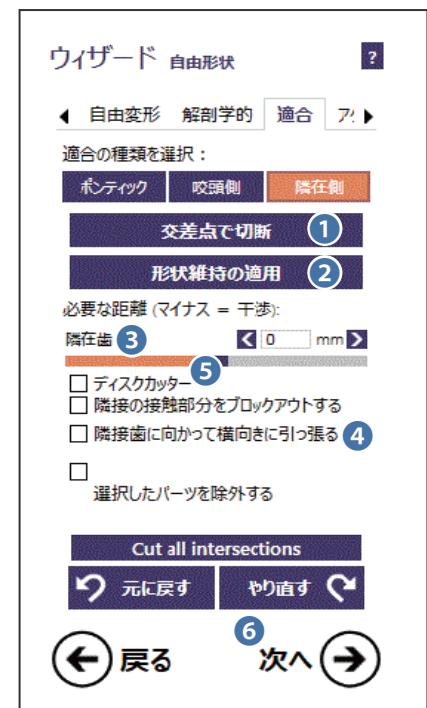
## ・隣在側

- ①「交差点で切断」：接触面を単純にカット
- ②「形状維持を適用」：歯牙の外形を維持して、接触面を調整
- ③「隣在歯」：歯牙モデルと隣在歯間の距離を設定
- ④「隣在歯に向かって横向きに引っ張る」：
  - 隣在歯と接触していない場合に④にチェックすると  
隣在歯と接触するように適用される

\*



- ⑤にチェックを入れると表示される
- ⑤-1「ディスクを追加」：追加する
- ⑤-2「全てを削除」：全てのディスクを削除
- ⑤-3「ツール軸」：1つの歯牙を基準に方向を決める
- ⑤-4「確認」：ビュー方向を基準にする



咬合 / 隣在関係の設定が終わったら、⑥「次へ」をクリックして、次の段階に進む

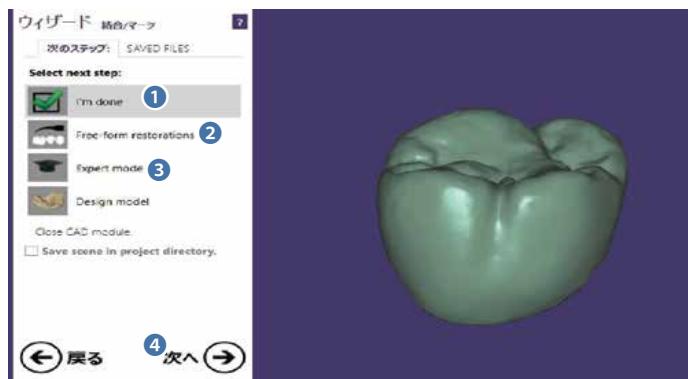
## ③ 歯牙にテキストを追加する



- ①「追加と削除」: これから選択するライブラリで追加か削除を選択  
 ②「ライブラリ」: アタッチメントを追加したり、削除する項目  
 テキスト追加もここで行える  
 ③「移動」: アタッチメントを移動させる  
 ④「回転」: アタッチメントを回転させる  
 ⑤「スケール」: アタッチメントの大きさを調整する  
 ⑥「挿入方向」: アタッチメントの挿入方向を調節する  
     上部構造: デザインした歯牙に合わ  
     視点: 現在見ているビュー方向に合わ  
     表面: 表面に合わせる  
 ⑦「適用」: 適用を押すとその配置で適応される  
 ⑧「次へ」: 操作が終了したら次へをクリックし最終項目に進む

\*特に操作をする必要が無い場合はそのまま「次へ」を押して最終項目に移動する

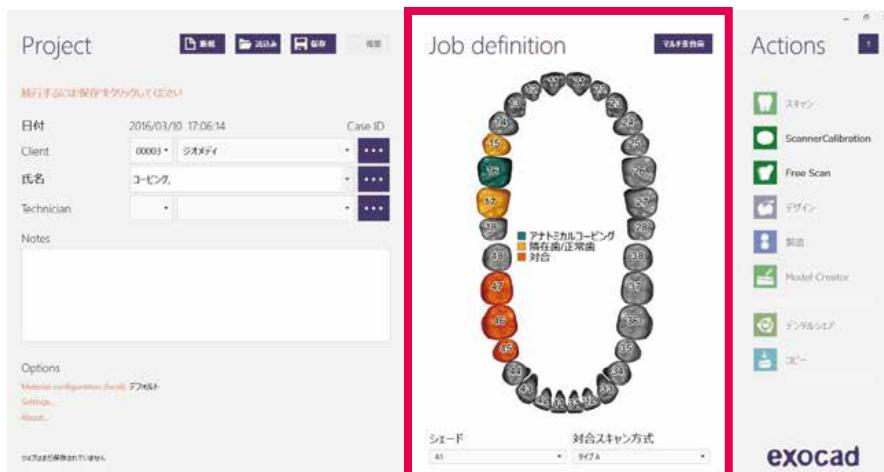
## クラウンのデザイン



- ①「I'm done」: データの保存後、プログラムを終了  
 ②「Free-form restorations」: 外形修正を行う  
 ③「Expert mode」: 完成したデザイン修正が可能なモード  
 実行するボタンを選択する  
 ④「次へ」をクリックする

## ② コーピングのデザイン

## ① 注文書(指示書)の作成



- ① 取引先、患者名を入力
- ② 補綴物の設定  
:「アナトミカルコーピング」

## ③ 隣在歯 / 対合歯の設定

\*対合歯がある場合は  
「対合スキャン方式」も設定  
指示の設定後は必ず①「保存」をクリック  
↓  
②「スキャン」をクリックして、スキャンを実行  
↓  
スキャン終了後、③「デザイン」をクリック

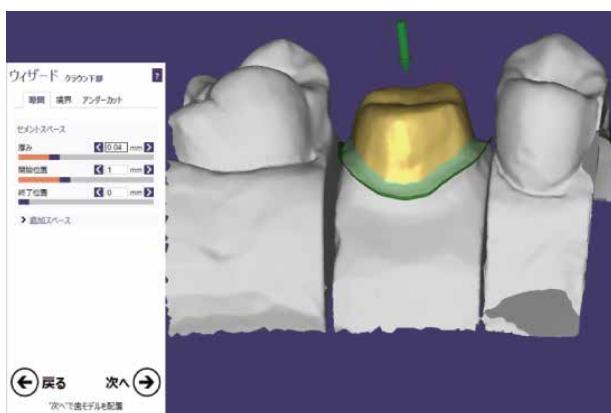


## ② デザイン・マージンラインの設定 (5p 参照)

マージン部位をクリック、必要な場合は修正

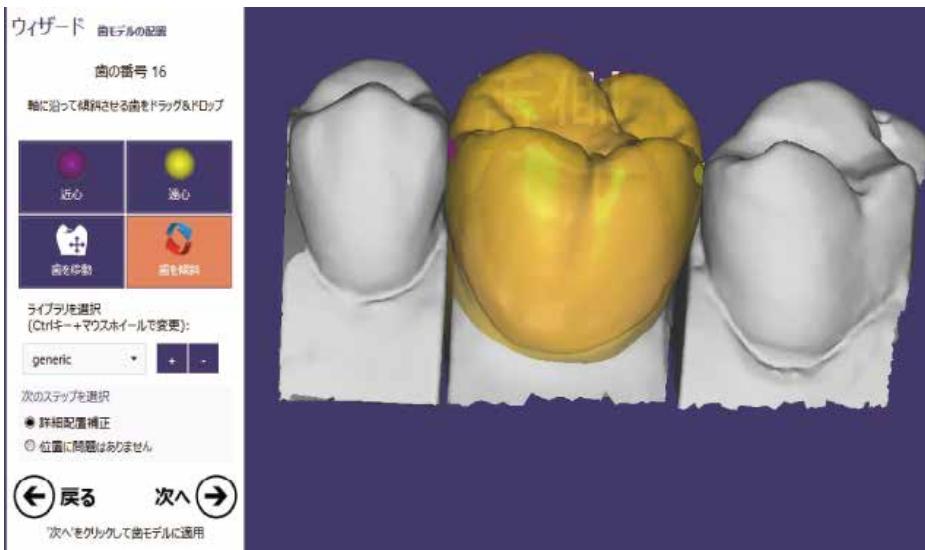


## ③ セメントスペース (6p 参照)

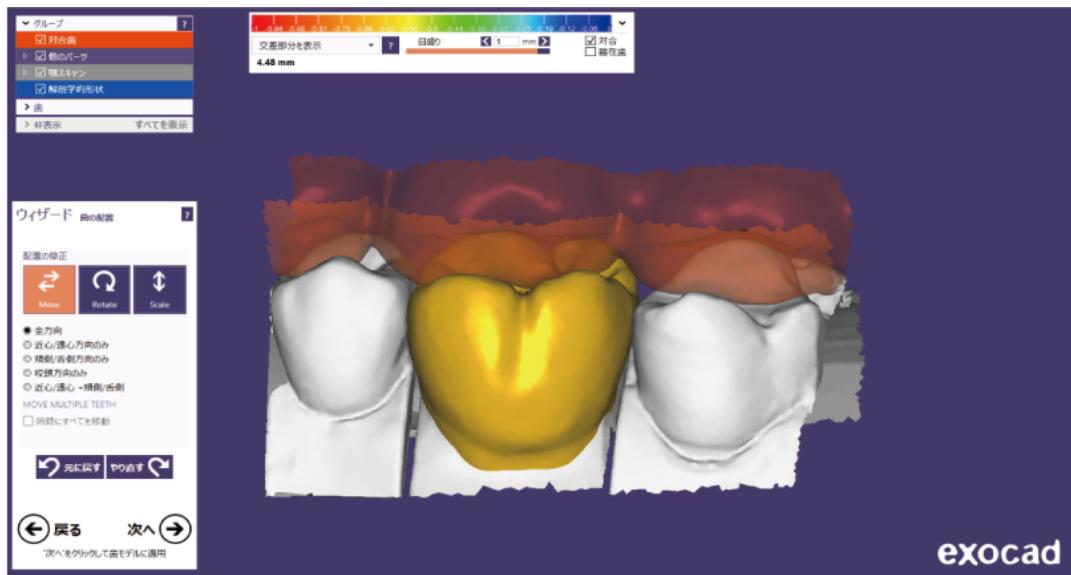


## ④ 歯牙モデルの読み込み (7p 参照)

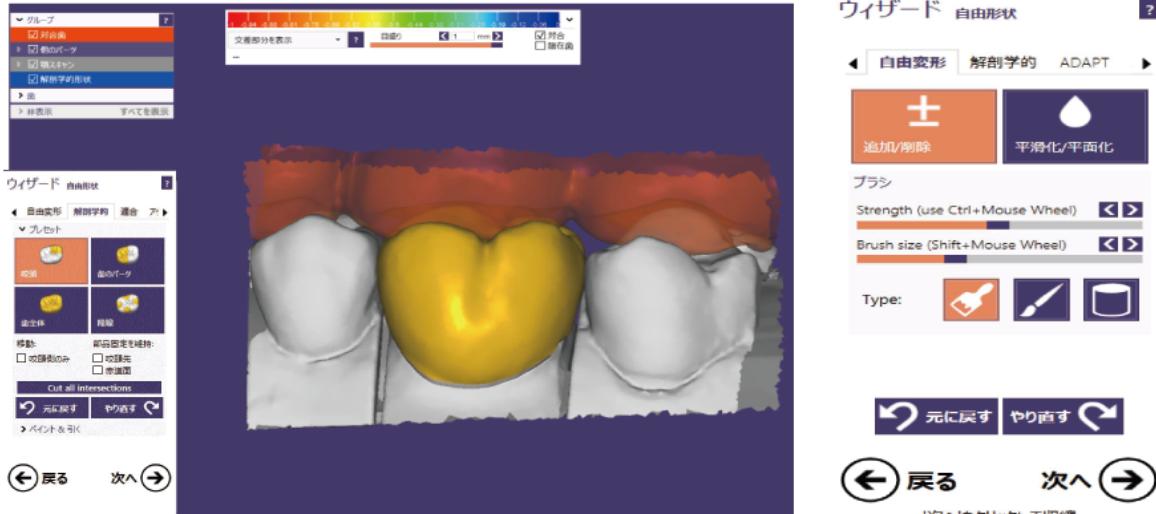
近 / 遠心をクリック



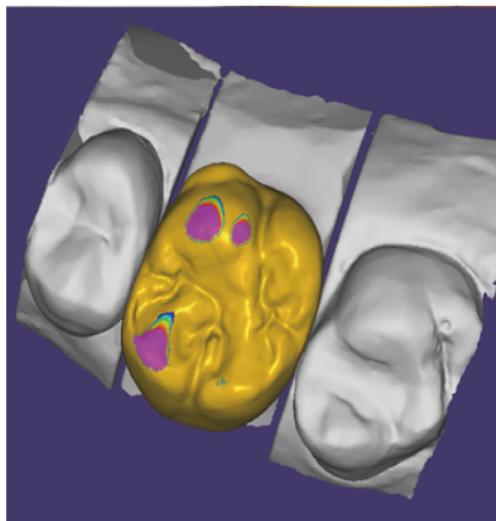
## ⑤ 歯牙モデルの配置 (8p 参照)



## ⑥ 歯牙モデルの外形調整 -1(9p 参照)



## ⑦ 咬合 / 隣在関係の設定 (10p 参照)



## ⑧ 歯牙モデルの外形調整



- ①「最少厚み」：コーピングの最少厚み
- ②「深さ」：カットバックする量
- ③「選択されたパートを除外」：カットバックしない部分を選択  
マウスでドラッグして選択（画面には青色で表示）
- ④「舌側収縮」：舌側のカットバック量を設定「0」にすると  
舌側はカットバックされない
- ⑤「前歯のみに適用」：全ての歯に適用する場合は、チェックを外す



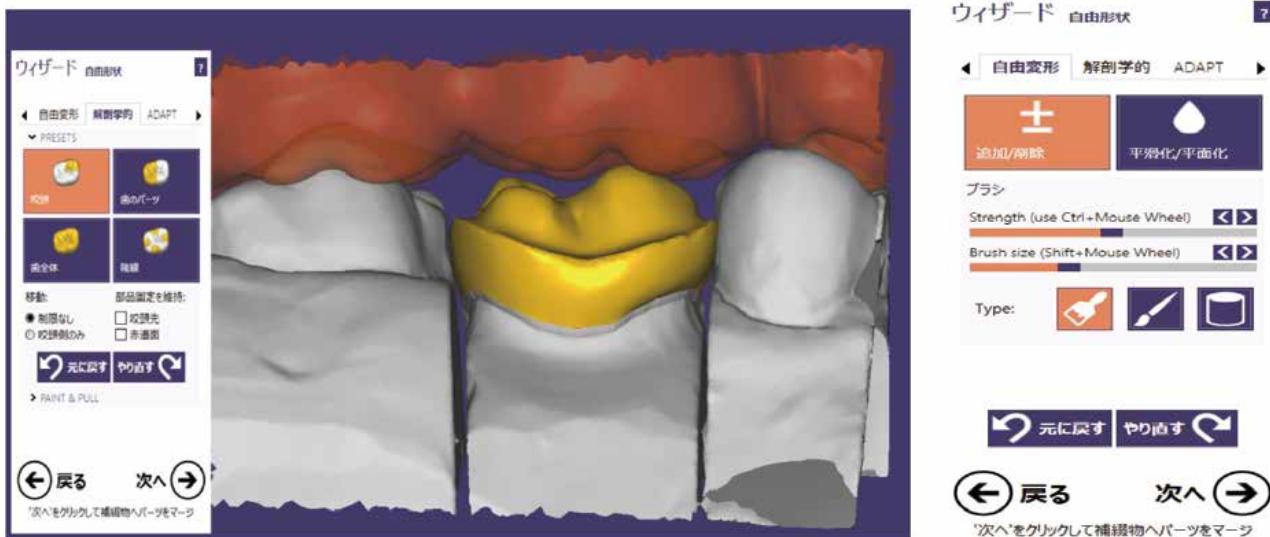
- ⑧「高さ」：リングルバンドの高さ  
 ⑨「ポンティックを変更しないでください」  
 : ポンティックはリングルバンドを適用しない  
 ⑩「周りをすべて選択」：リングルバンド全体をカットバックしない  
 ⑪「舌側パートを選択」：舌側をカットバックしない



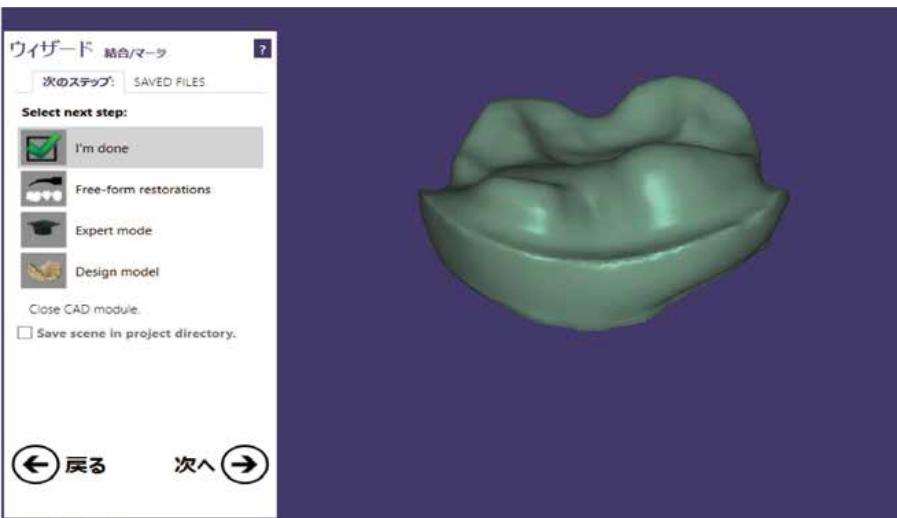
カットバンクの設定後、⑥「適用」をクリックすると、カットバックが適用される  
 確認後、⑦「次へ」をクリックして、次の段階へ進む  
 (修正が必要な場合：「修正」→「適用」→「次へ」)

## ⑨ 歯牙モデルの外形調整 -2( 9p 参照 )

コーピングの場合、外形調整を2回行う（カットバック前 / カットバック後）



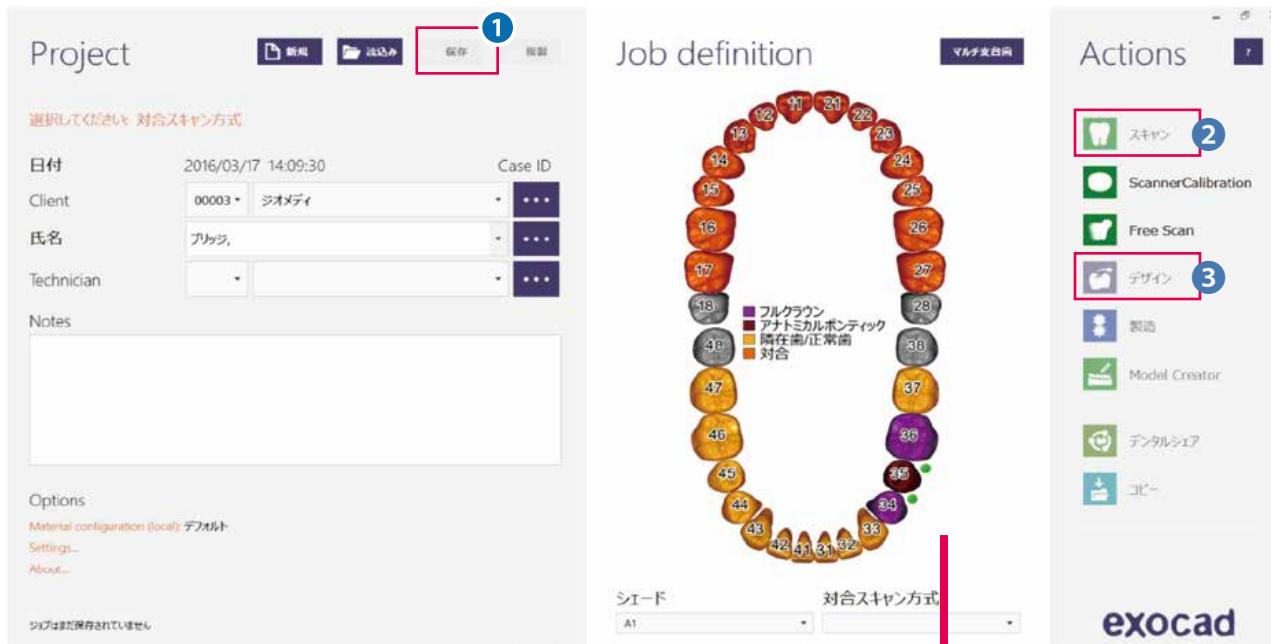
## ⑩ コーピングのデザイン完成 ( 11p 参照 )



## ③ ブリッジのデザイン

## ③ ブリッジのデザイン

## ① 注文書(指示書)の作成



① 取引先、患者名を入力

② 補綴物の設定

③ 隣在歯/対合歯の設定

\*対合歯がある場合は

「対合スキャン方式」も設定

指示の設定後は必ず①「保存」をクリック

↓

②「スキャン」をクリックして、スキャンを実行

↓

スキャン終了後、③「デザイン」をクリック

**\*\* 注意 \*\***

ブリッジを作成する際は、コネクター部分に表示されるポイント(●)をクリックし、緑色になるようにする



単冠(連絡X)

ブリッジ(連絡O)

② デザイン・マージンライン (5p 参照)

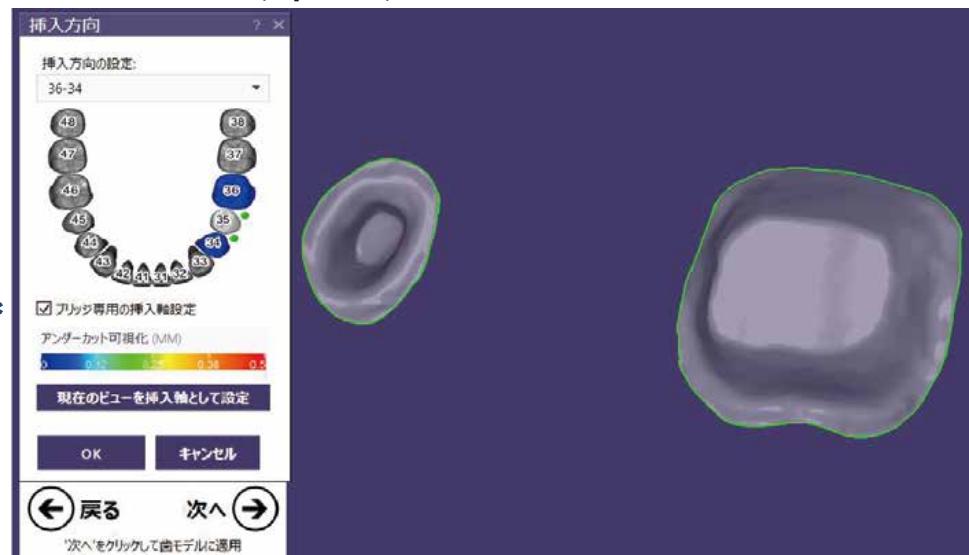


**\*\* 注意 \*\***

ウィザードに表示される「歯の番号」を確認してマージンラインを設定

## ③ ブリッジのデザイン

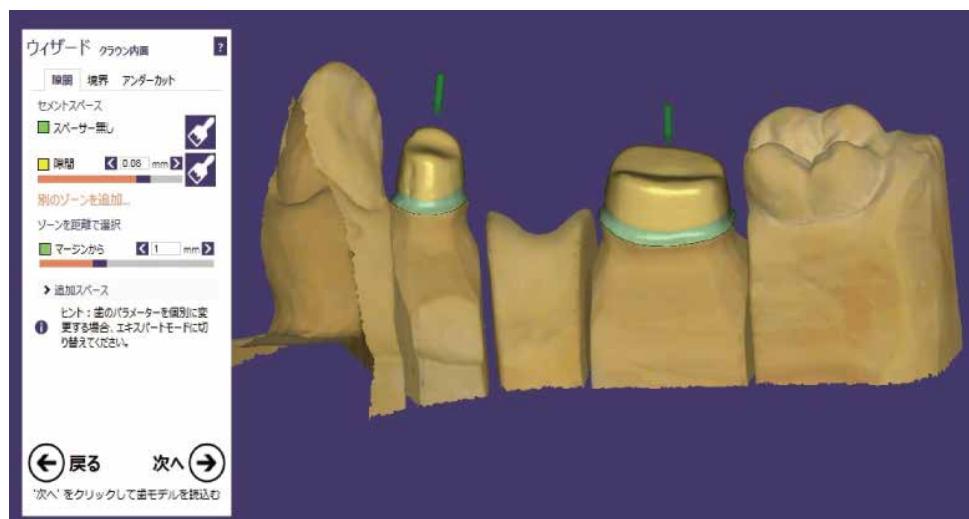
## ③ 挿入方向の設定 ( 6p 参照 )



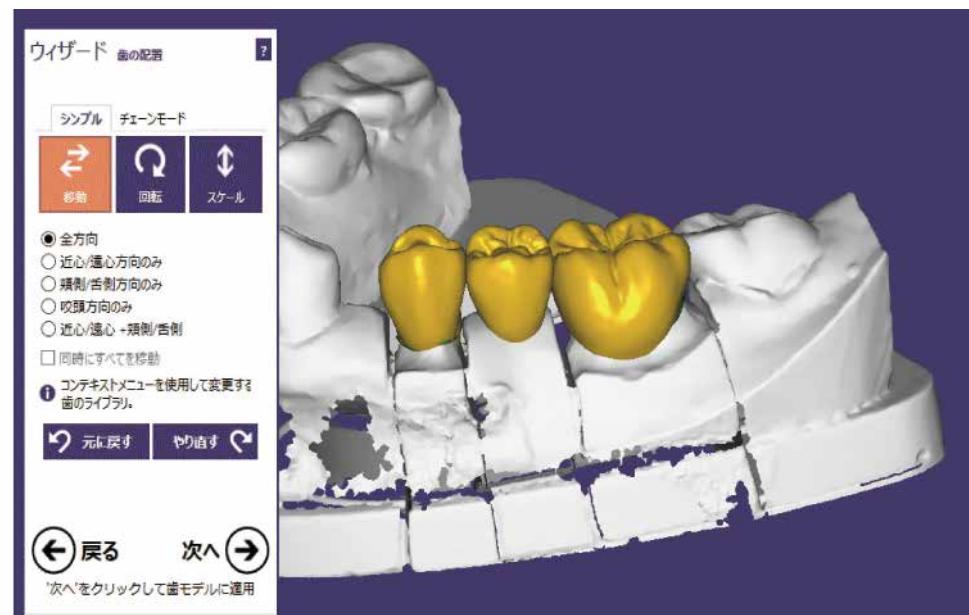
\*「ブリッジ専用の挿入軸設定」: 全ての支台歯に同じ挿入方向を設定 (3/4軸の機械でミリングする際には必ずチェックする)

## ④ 内面の設定 ( セメントスペース / 6p 参照 )

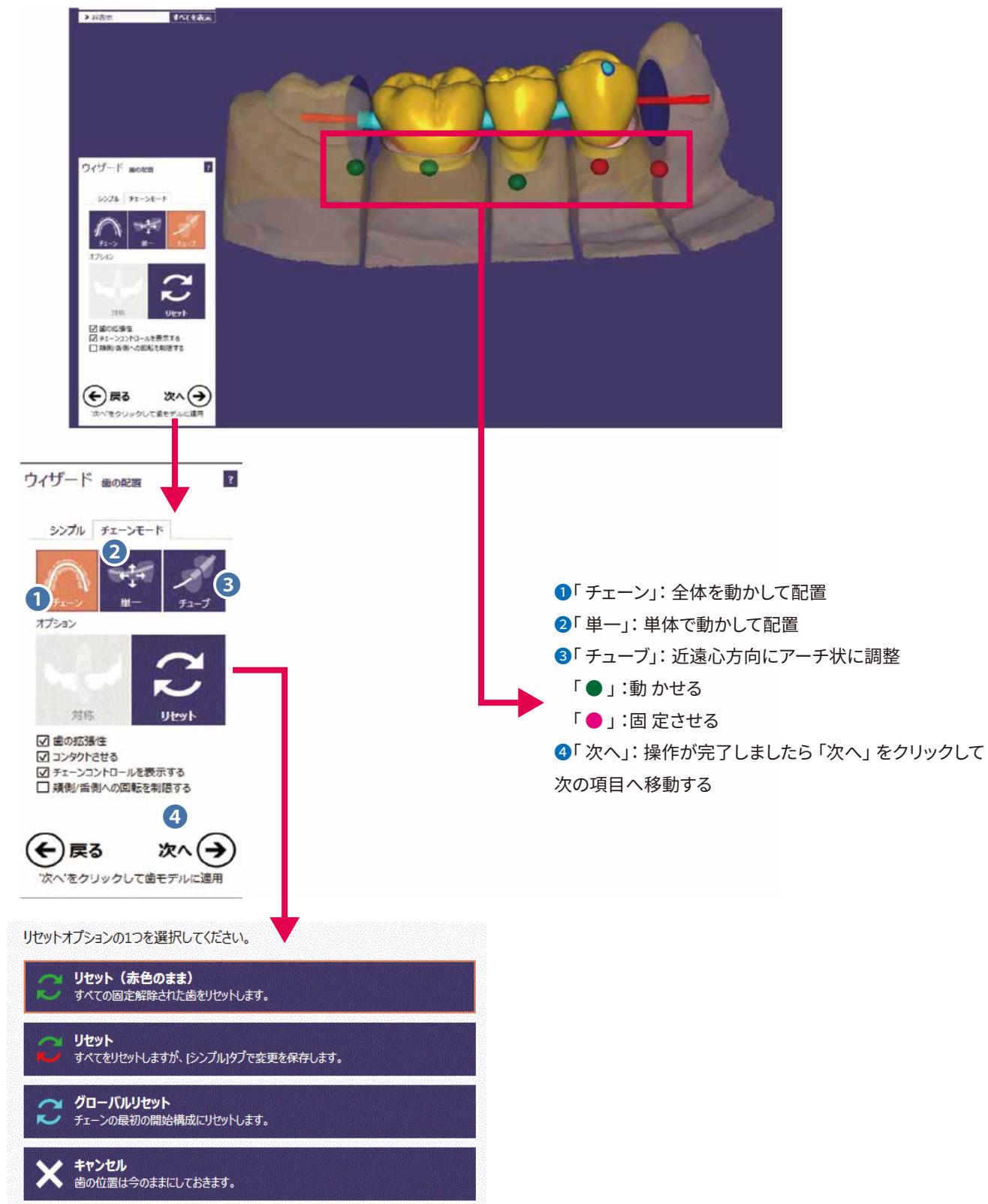
単冠制作の時より、セメントスペースを十分に設定する(0.05~0.07mm程度)



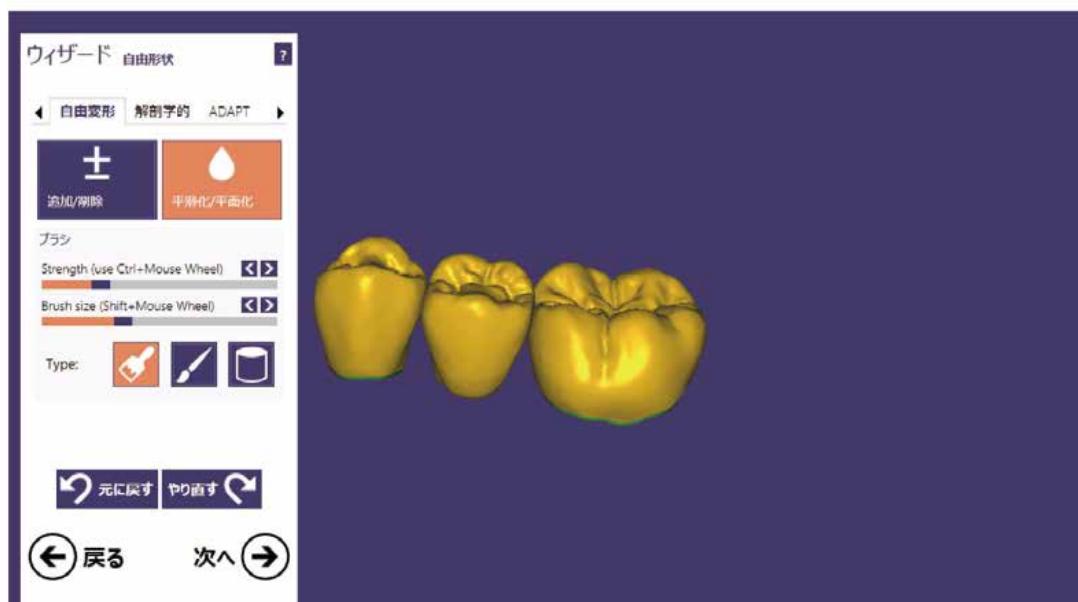
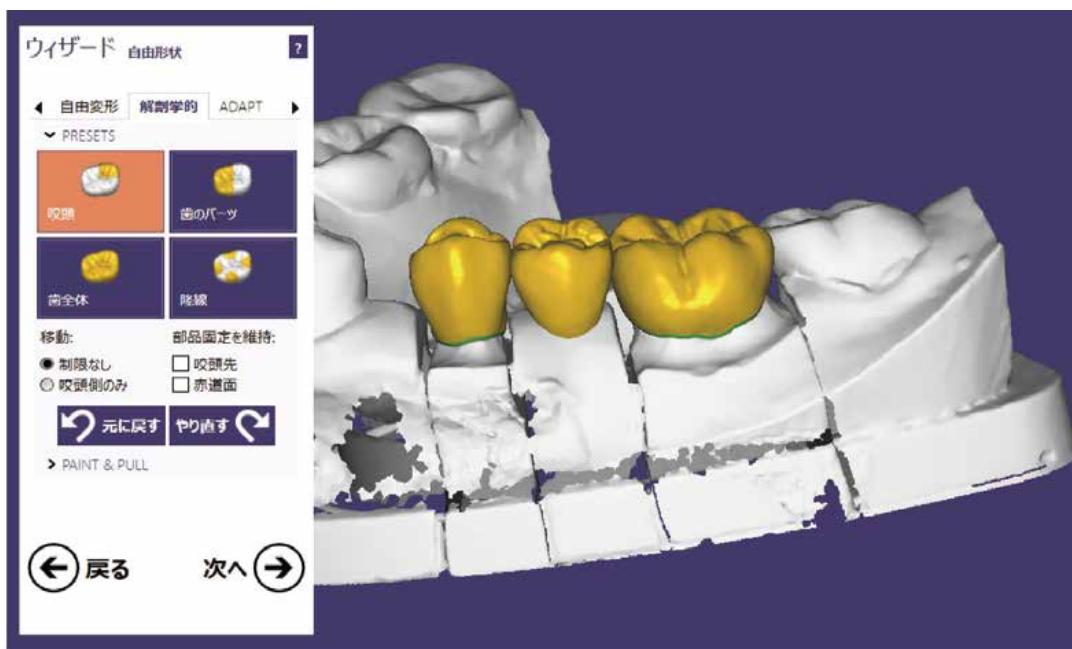
## ⑤ 歯牙モデルの配置 ( 8p 参照 )



## ⑥ チェーンモード



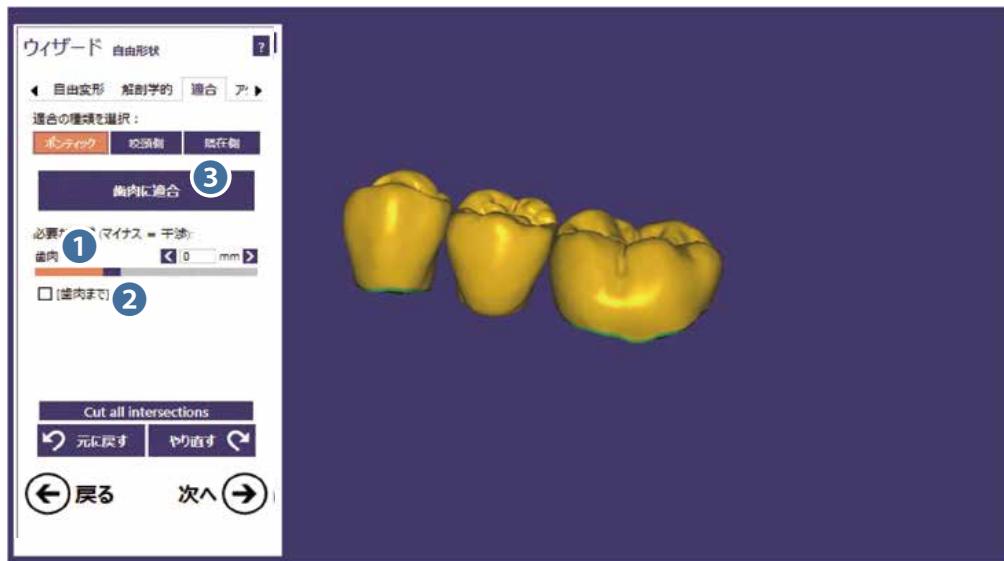
## ⑦ 歯牙モデルの外形形成 (9p 参照)



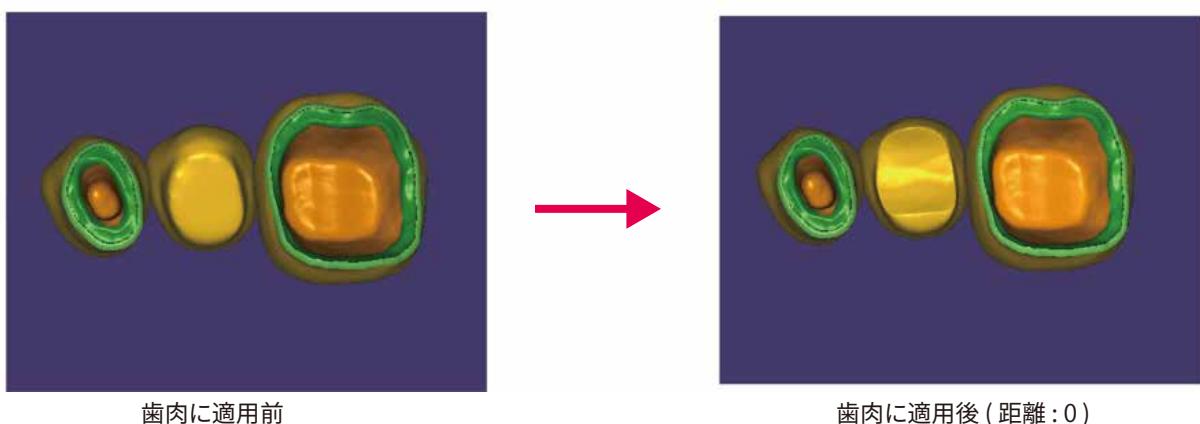
\*ポンティック：ポンティックが歯肉に接触していない場合は、歯肉に接触するように修正する

- ①「歯のバーツ」を選択して、歯肉の方にドラッグする
- ②「追加/削除」で面を追加する

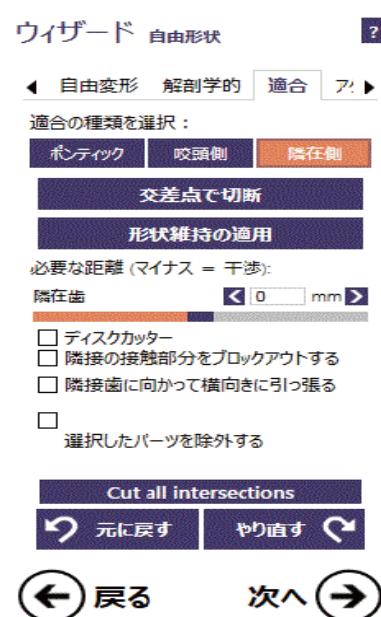
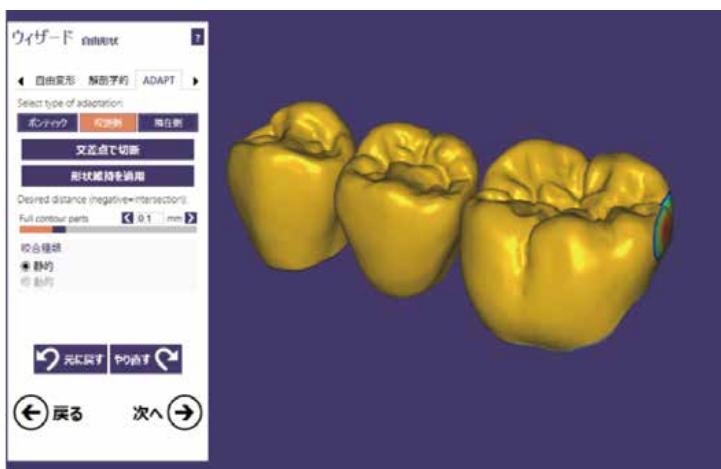
## ポンティックの適用



- ①「歯肉」: ポンティックと歯肉間の距離を設定
- ②「歯肉まで」: ポンティックが歯肉に接触していない場合、②にチェックして③をクリックすると  
①で設定した距離に合わせて、ポンティックの下部が延長される
- ③「歯肉に適用」: ①、②の設定を適用



## 咬合 / 隣在関係の適用 (10p 参照)



## ③ ブリッジのデザイン

## コネクターの設定



①「コネクターの断面設定」/「コネクタの高さと幅を設定」：コネクターの制作方法

②「最小面積」：コネクターの最少面積を設定

③「コネクタの厚さを視覚化」：コネクターの厚みを視覚化(色)で表示

④「形状」：コネクターの形状を選択

⑤「クロスセクション / 形状変更を適用」：①~④ の設定を適用

\* コネクターの位置変更：マウスでドラッグ

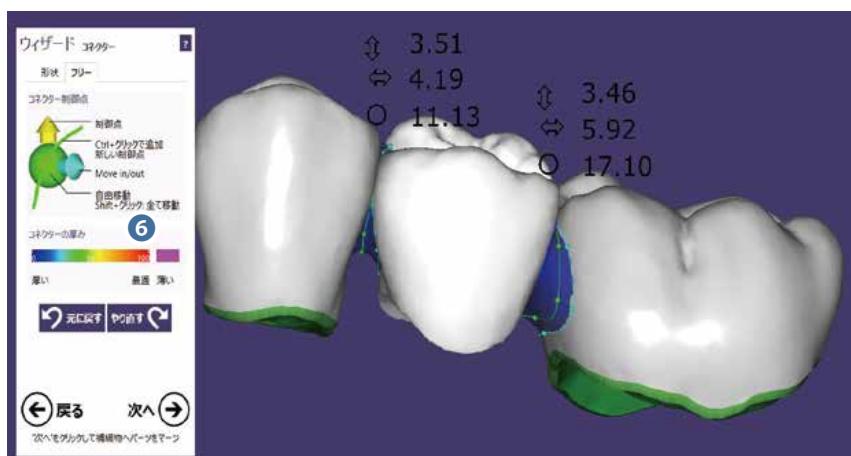
\* フリー：各調節点(ポイント)を動かして、コネクターを自由に編集できる

キーボード「Ctrl」+ クリック：調節点(ポイント)の追加

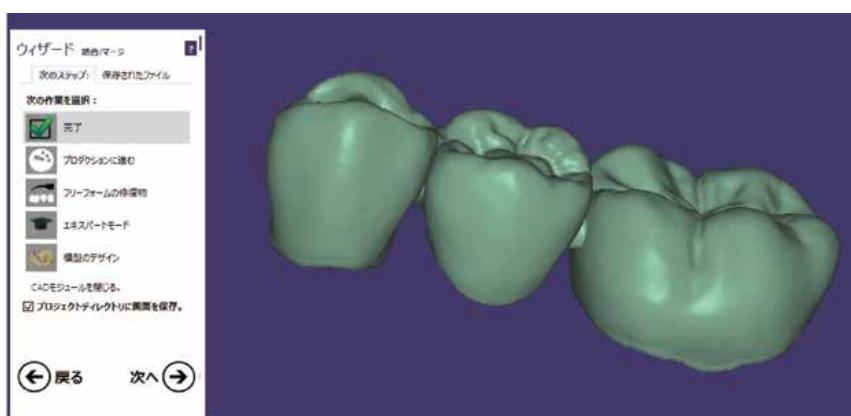
キーボード「Shift」+ ドラッグ : 線 全体の移動

⑥「コネクターの厚み」を確認しながら、編集する

最少厚みより細く編集されたコネクターはピンク色で表示される

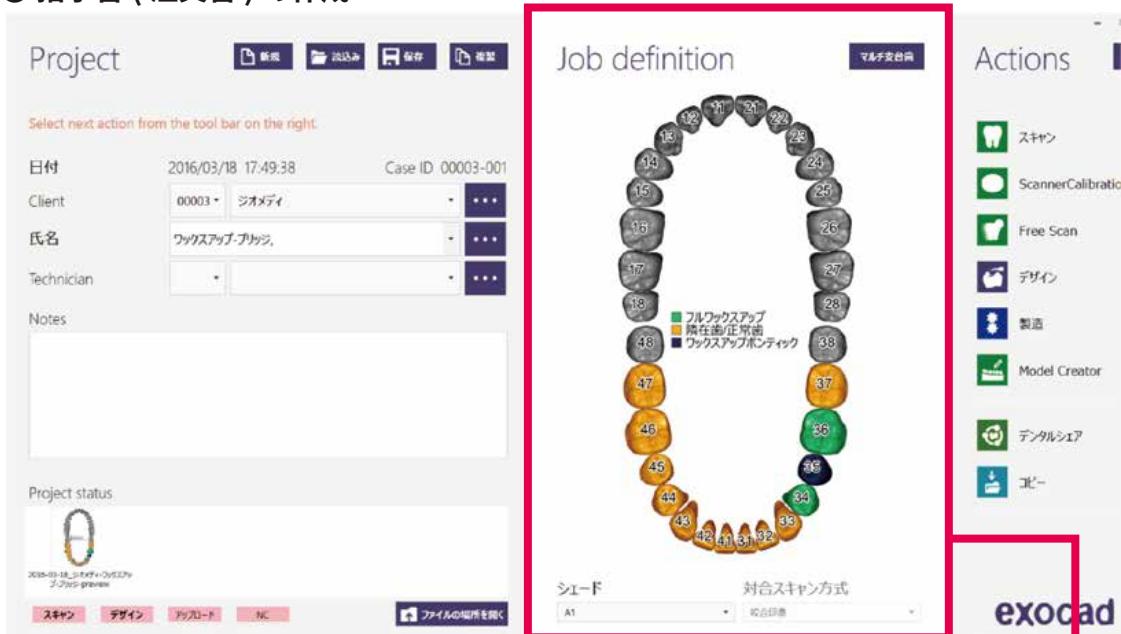


## ブリッジのデザイン完成 (11p 参照)



## ④ ワックスアップのデザイン

## ① 指示書（注文書）の作成



1. 取引先、患者名を入力
2. 補綴物の設定：フルワックスアップ / カットバックワックスアップ / ワックスアップポンティック
3. 隣在歯 / 対合歯の設定

指示の設定後は必ず「保存」をクリック

↓

「スキャン」をクリックして、スキャンを実行

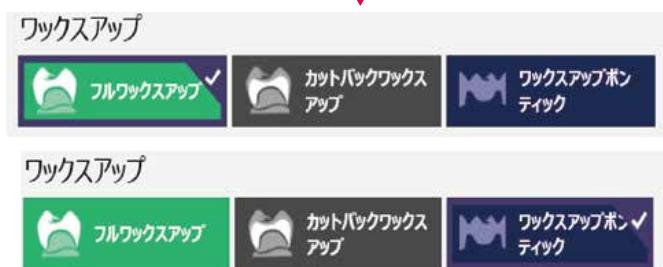
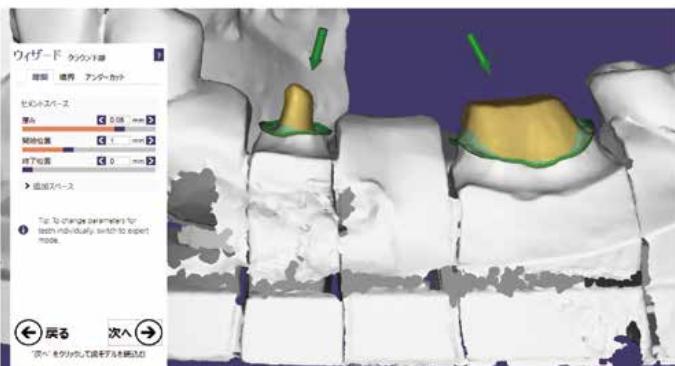
↓

スキャン終了後、「デザイン」をクリック

## デザイン・マージンラインの設定 (5p 参照)



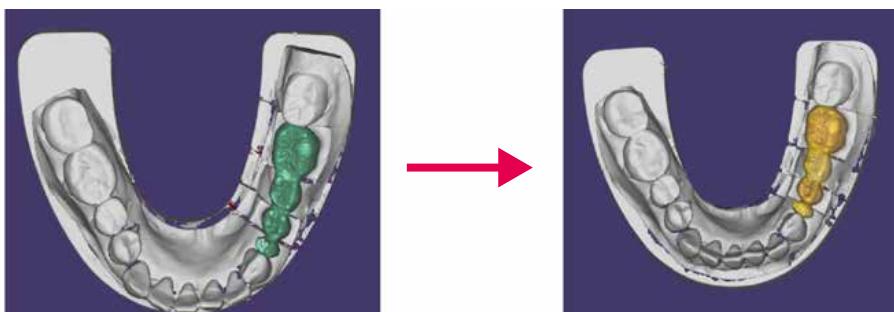
## 内面の設定 (6p 参照)



## ④ ワックスアップのデザイン

## ワックスアップの適用

設定したマージンラインに合わせて、ワックスアップデータが編集される



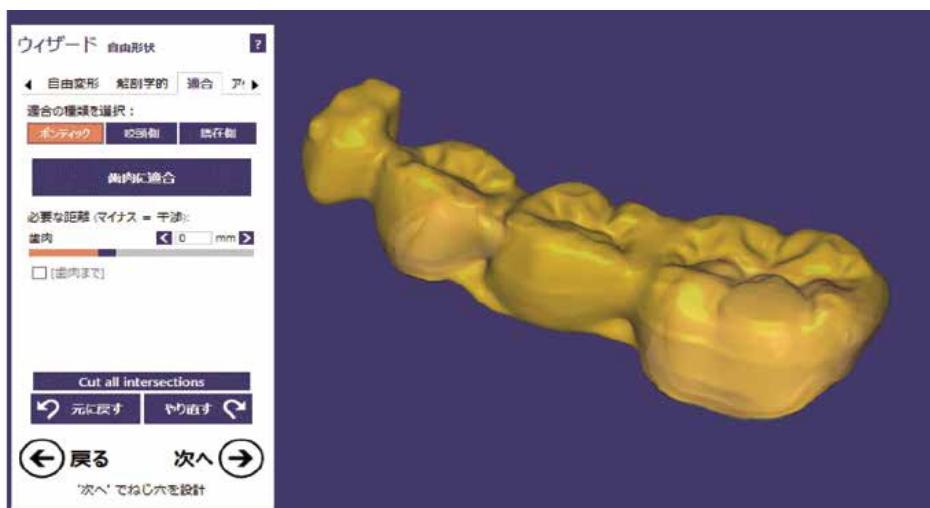
## 歯牙モデルの外形調整 (9p 参照)



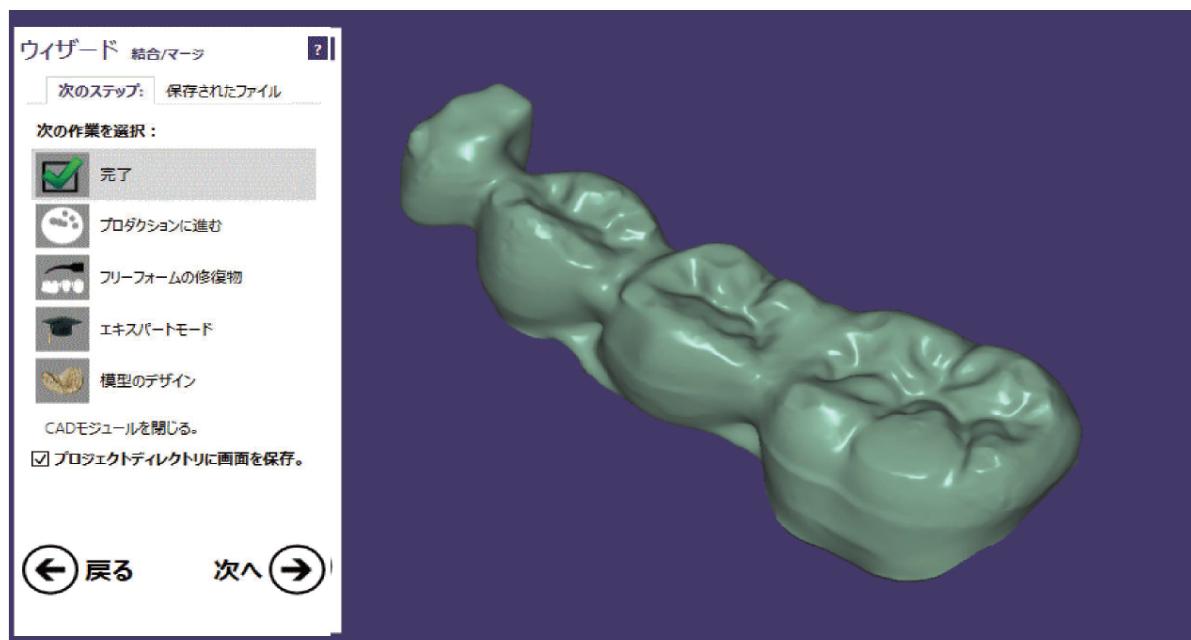
\*ワックスアップのダブルスキャンの場合、表面が荒く表現される可能性がある

自由変形の段階で面を滑らかに修正することを推奨 (Ctrl + 平滑化/平面化)

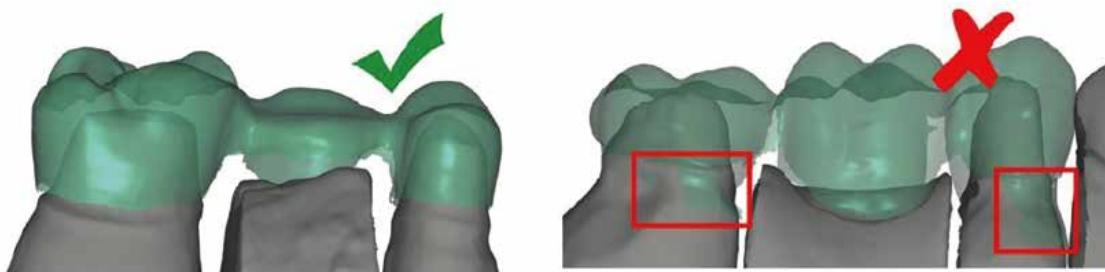
## 咬合 / 隣在関係の適用 (10p 参照)



完成 (11p 参照)



\*注意\*

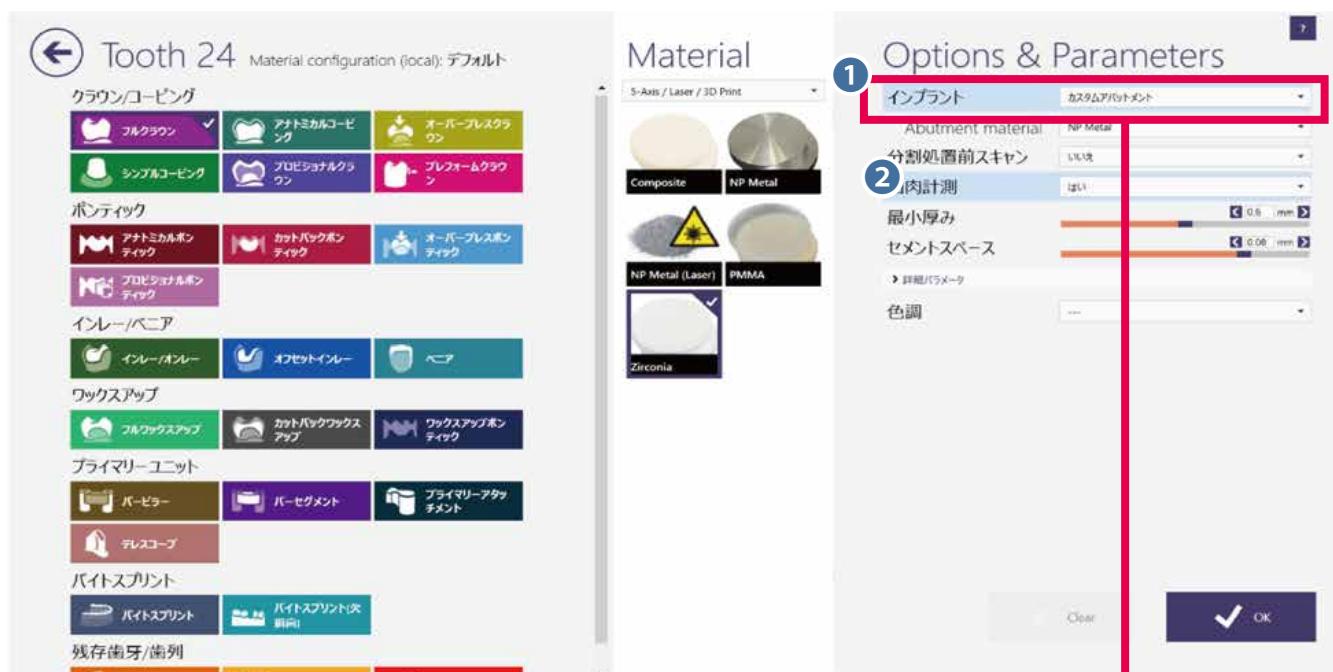


支台歯など模型の部分までワックスアップデータとして認識された場合は、スキャンデータを編集する必要がある

1. スキャンの段階で確認して、不要な部分を削除する
2. 「Expert」モードで、右クリック→「メッシュ編集」→不要な部分を削除

## ⑤ フルクラウンのデザイン

## ① 指示書(注文書)の作成



1. 取引先、患者名を入力

2. 補綴物の設定

「フルクラウン」→「材料の選択」

→ ①「インプラント:カスタムアバットメント/スクリューリテイン」

→ ②「歯肉計測:はい」

3. 隣在歯 / 対合歯の設定

\* 対合歯がある場合は「対合スキャン方式」も設定

1. 「インプラント」

\* カスタムアバットメント:

ジルコニアアバットメント / チタンアバットメントの制作  
(Geo Library適用)

\* カスタムアバットメント(手動位置設定)

: Geo Library適用X

\* スクリューリテンション

: スクリューリテインの制作 (Geo Library適用)

\* スクリューリテンション(手動位置設定)

: Geo Library適用X

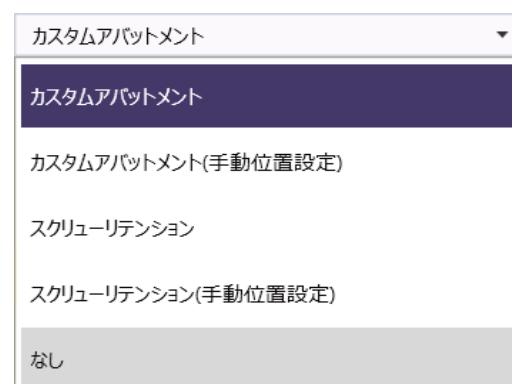
指示の設定後は必ず①「保存」をクリック



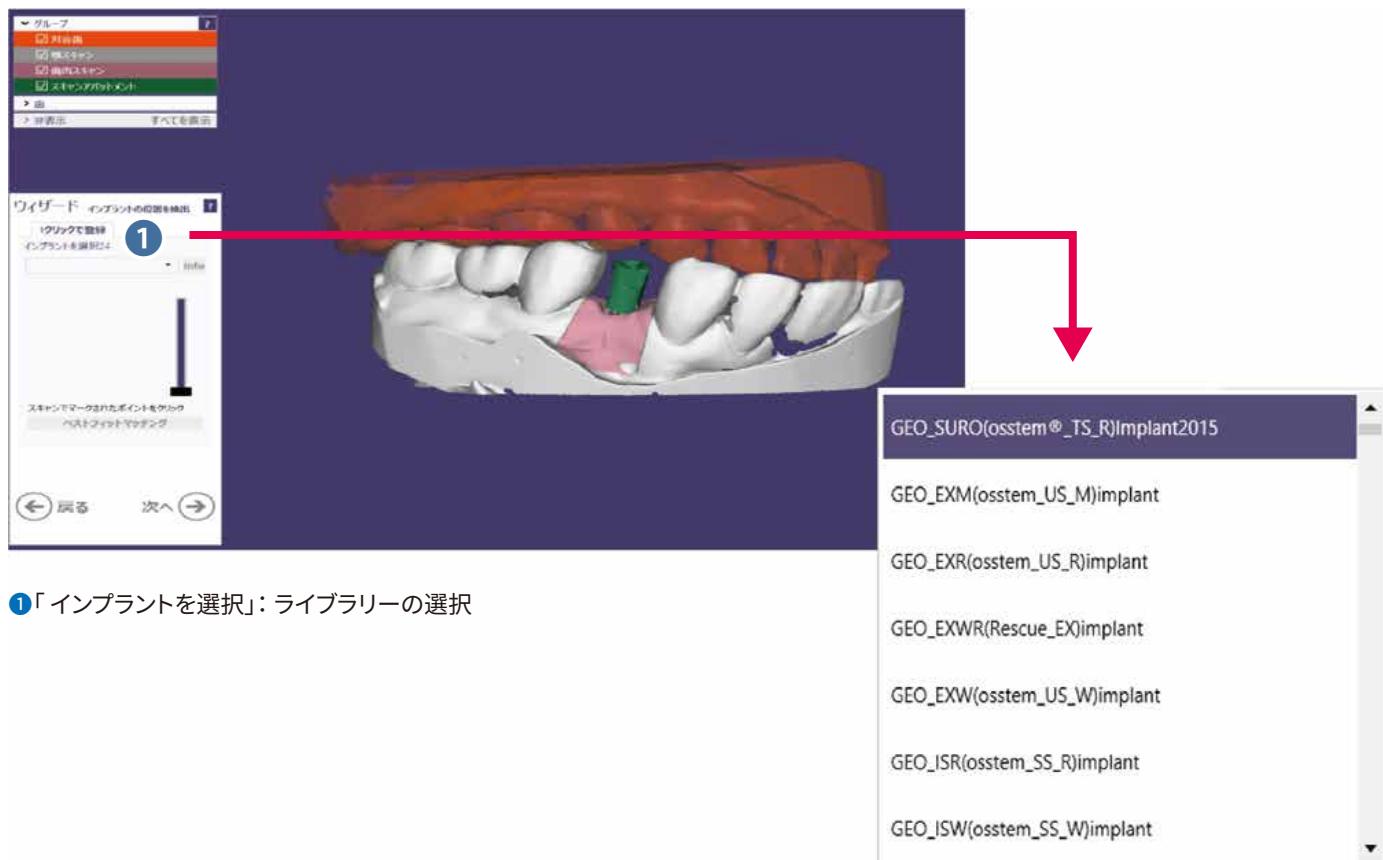
2. 「スキャン」をクリックして、スキャンを実行



3. スキャン終了後「デザイン」をクリック

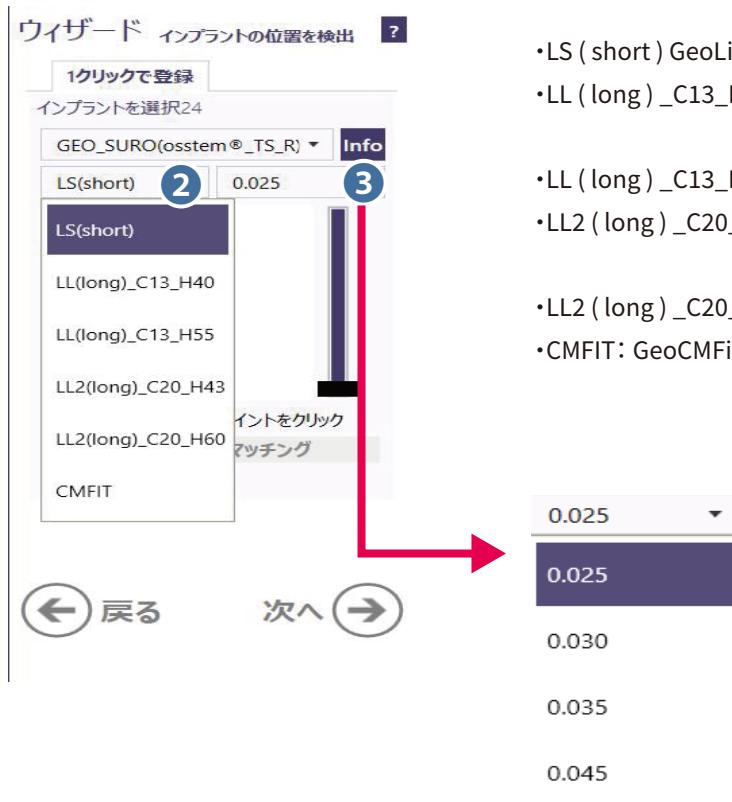


## ② デザイン・ライブラリーの適用



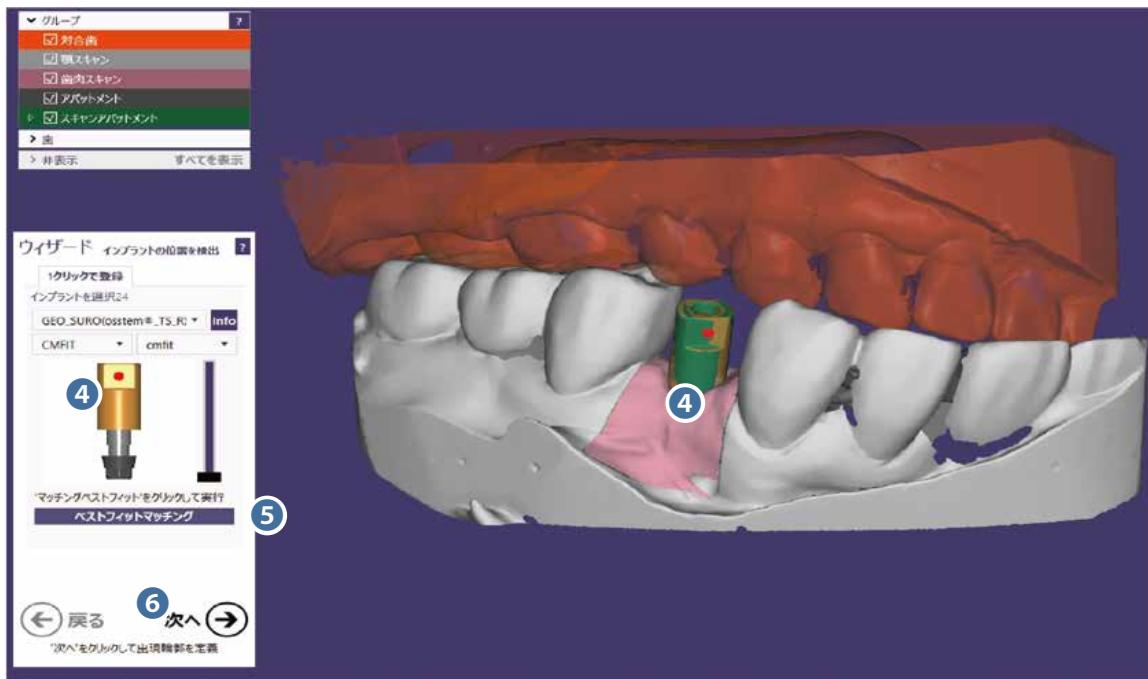
①「インプラントを選択」: ライブラリーの選択

## ② アバットメントタイプを選択



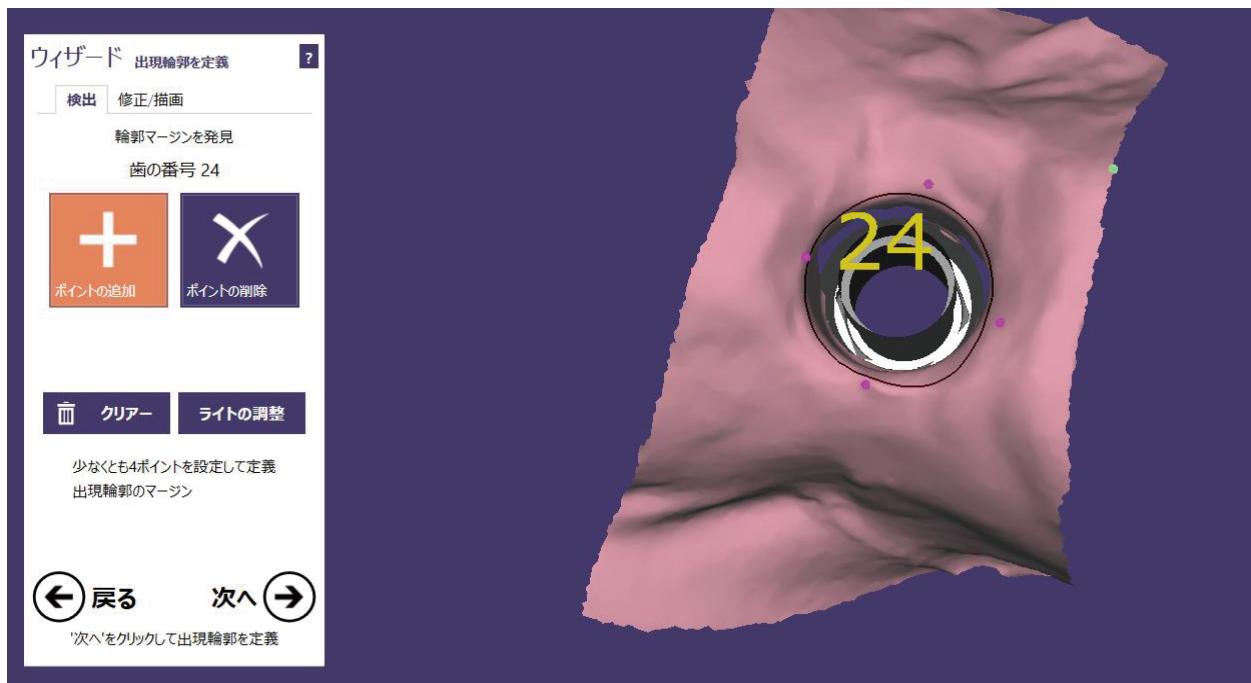
- LS ( short ) GeoLinkのLSタイプ ( Short )
- LL ( long ) \_C13\_H40: GeoLinkのLLタイプ ( G / H: 1.3 )
  - ( Linkをカットして使用する場合に選択 )
- LL ( long ) \_C13\_H55: GeoLinkのLLタイプ ( G / H: 1.3 )
- LL2 ( long ) \_C20\_H43: GeoLinkのLLタイプ ( G / H: 2.0 )
  - ( Linkをカットして使用する場合に選択 )
- LL2 ( long ) \_C20\_H60: GeoLinkのLLタイプ ( G / H: 2.0 )
- CMFIT: GeoCMFit ( チタンアバットメント )

③ セメントスペース ( Linkのみ ):Link(チタンベース)とジルコニアアバットメント間のセメントスペースを設定



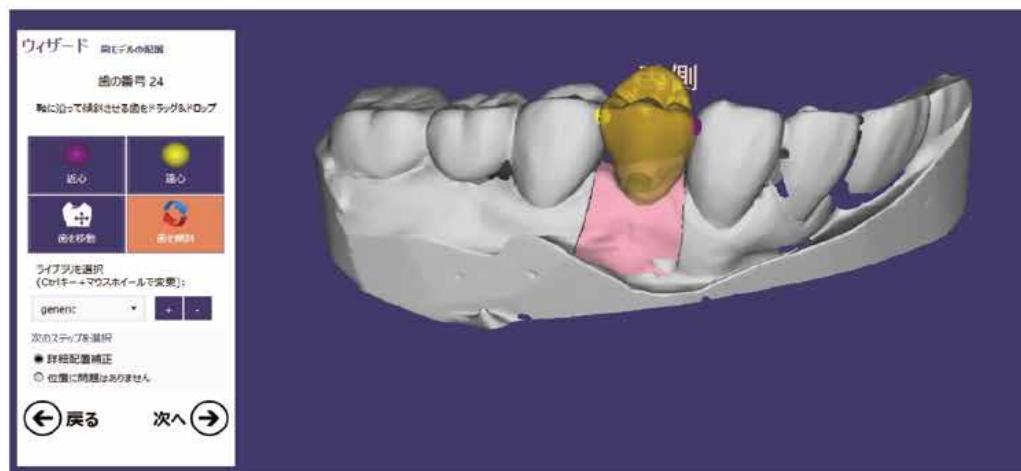
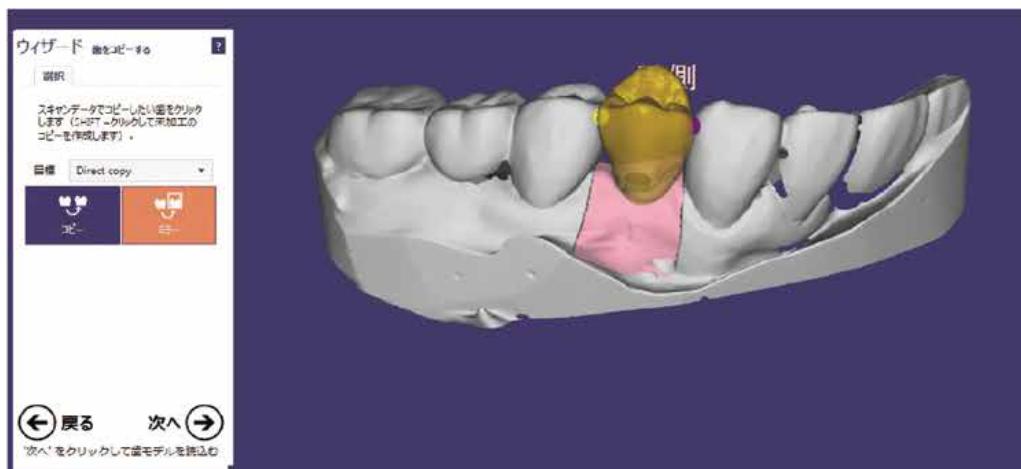
- ④ スキャンボディのマッチング ( インプラント位置の設定 ):  
　　ウィザードに表示される図の赤いポイント ( ● ) と同じ位置 ( 面の短い方 ) をクリック  
⑤ 「ベストフィットマッチング」をクリック  
⑥ マッチングの確認後、「次へ」をクリックして、次の段階へ進む

**Emergence Profileの設定** : 歯肉のEmergence Profile部位の4か所をクリック( マージンラインの修正方法は、5p 参照 )

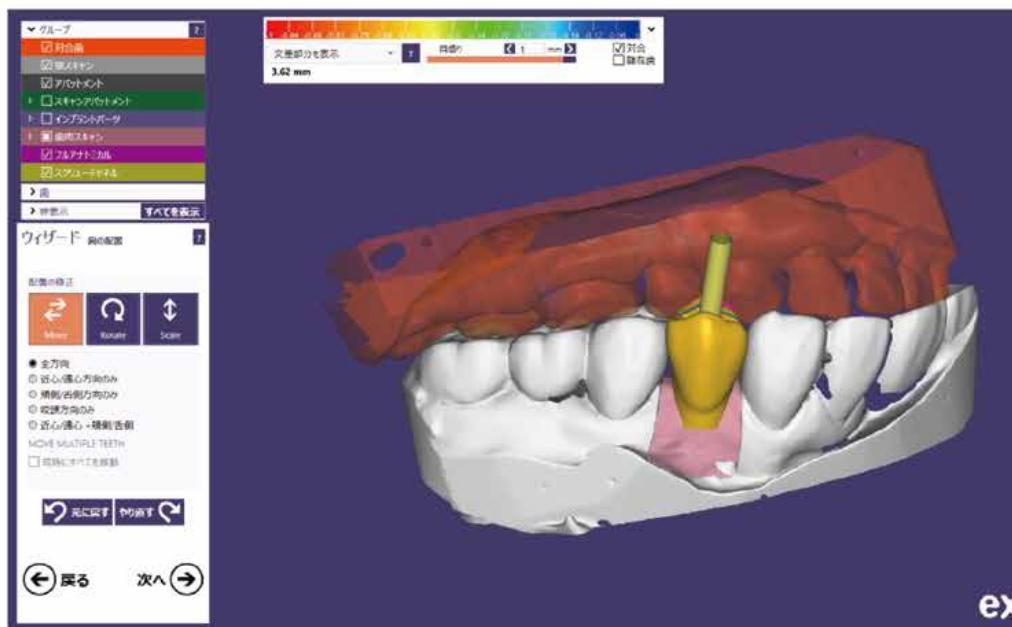


## ⑤ フルクラウンのデザイン

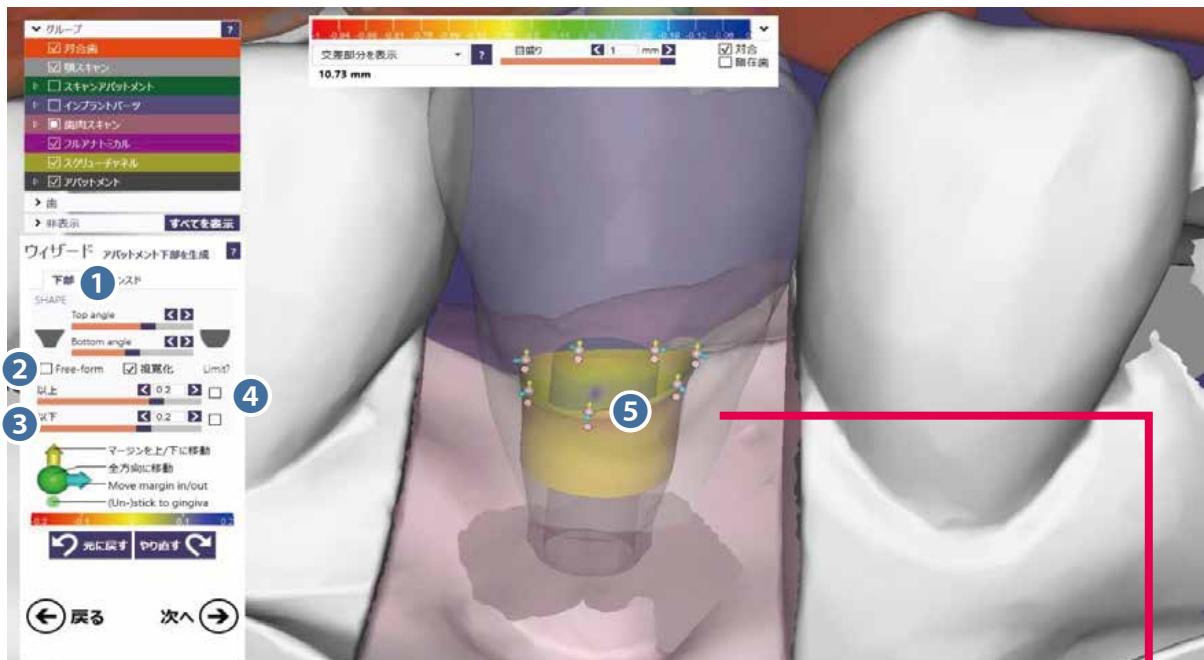
歯牙モデルの読み込み( 7p参照 )



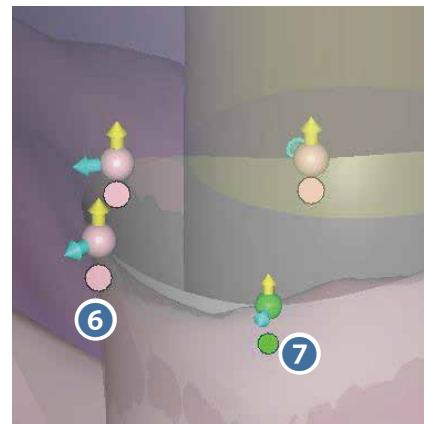
歯牙モデルの配置( 8p参照 )



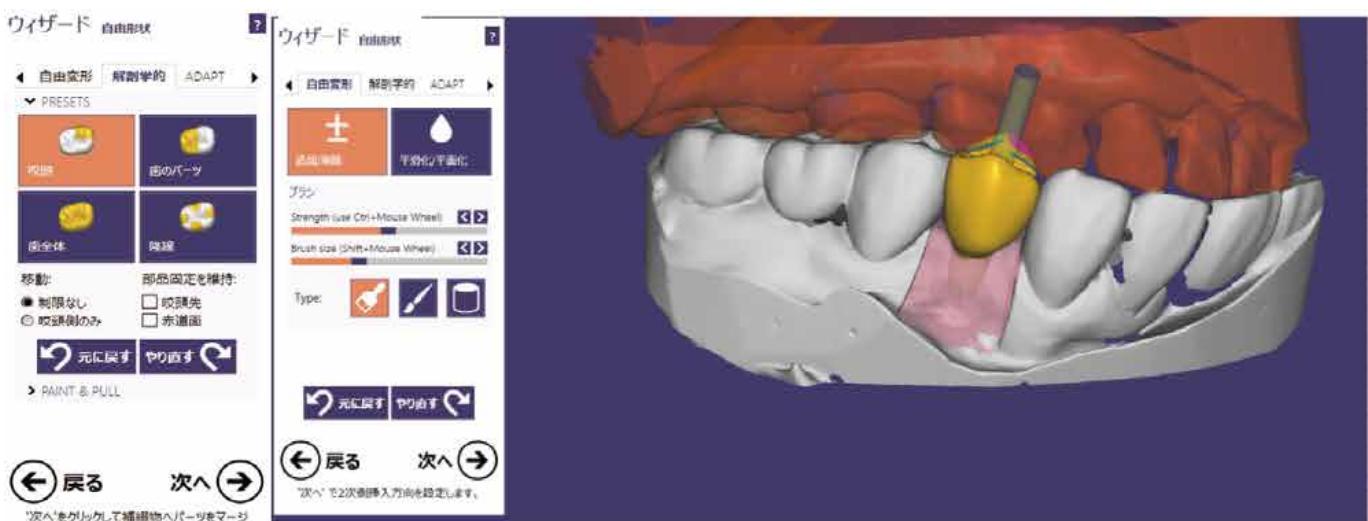
## アバットメント下部のデザイン



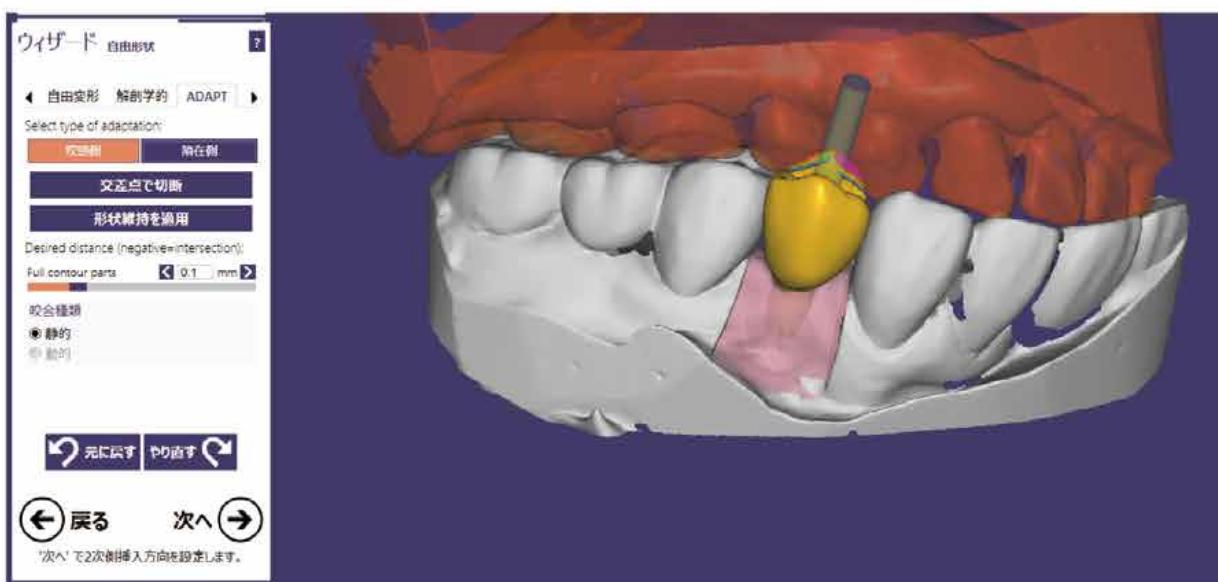
- ① 「SHAPE」: スライダーを動かして、アバットメント下部の形状を調整  
 「Top angle」: アバットメント下部の上  
 「Bottom angle」: アバットメント下部の下 \*すべてのアバットメントに適用
- ② 「Free-form」: 自由変形の「追加 / 削除」機能で修正  
 ( Shift + クリック : 面の削除 / Ctrl + クリック : 面全体を追加 ) \* 個別に適用  
 \* 「視覚化」: アバットメントが歯肉を圧迫する程度を色で表示  
 「視覚化」にチェックして、圧迫程度を確認しながら作業する
- ③ 歯肉を圧迫する程度による色の範囲を調節
- ④ 「Limit」: 圧迫を制限
- ⑤ ポイント: 各ポイントを動かして自由に修正ができる
- ⑥ ( ● / ピンク ): 歯肉に付着して移動
- ⑦ ( ● / 緑 ): 歯肉から自由に移動  
 \* Ctrl+ ドラッグ : 歯肉上にあるすべてのポイントを同時に移動



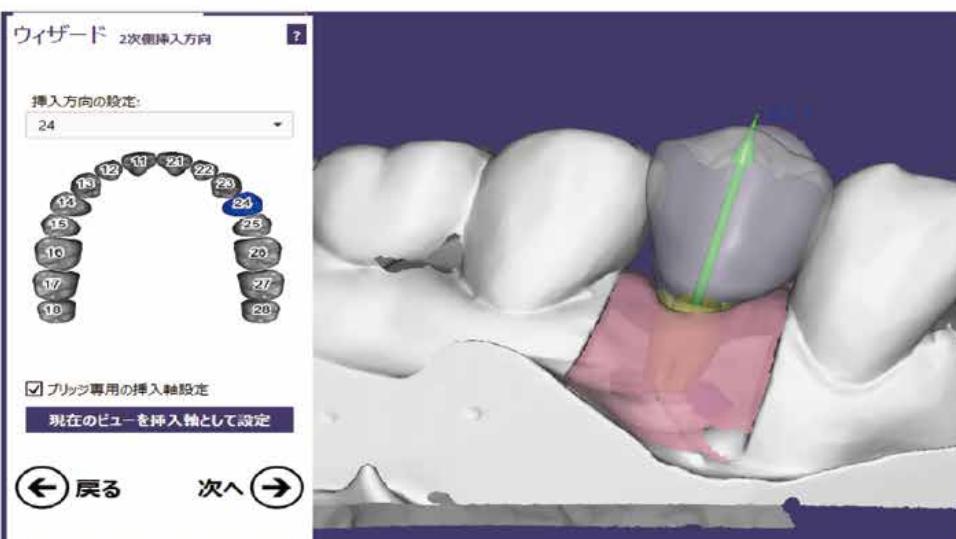
## クラウンの外形調整( 9p 参照 )



## 咬合 / 隣在関係の適用 ( 10p 参照 )

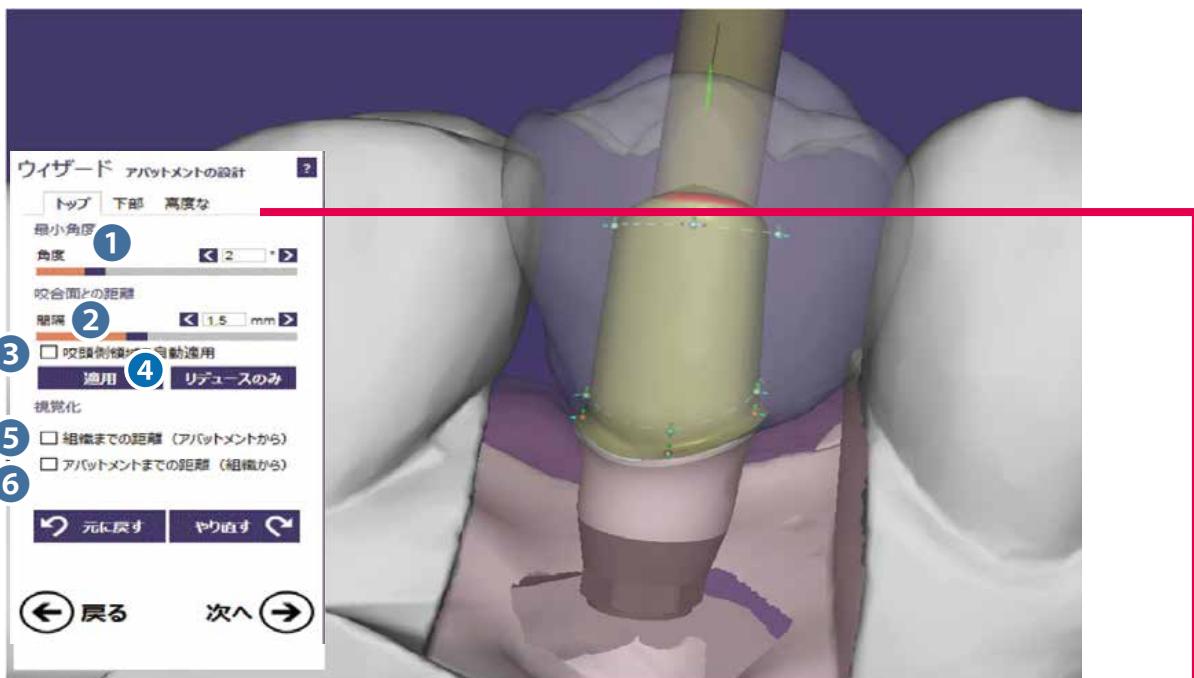


## 挿入方向の設定



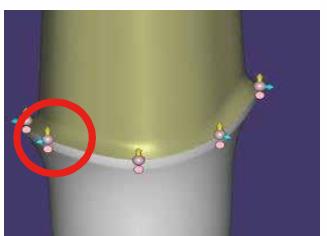
① 矢印の端のポイント ( ● ) を動かして挿入方向を設定

## アバットメントの設計

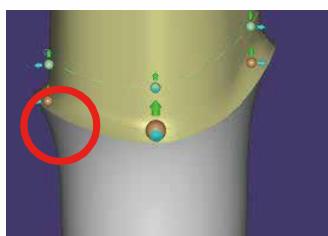


- ①「角度」：アバットメントの角度を設定 スライダーを動かすか、数字を入力
- ②「間隔」：咬合面とアバットメント間の距離 スライダーを動かすか、数字を入力
- ③「咬頭側領域を自動適用」：咬合面との距離、形状が自動で適用される
- ①～③ の設定後、④「適用」をクリック
- ⑤「組織までの距離(アバットメントから)」：アバットメントと補綴物間の距離をアバットメントに色で表示
- ⑥「アバットメントまでの距離(組織から)」：アバットメントと補綴物間の距離を補綴物に色で表示

- ⑦「高さ」：アバットメント境界部の高さを設定



高さ : 0.2



高さ : 0

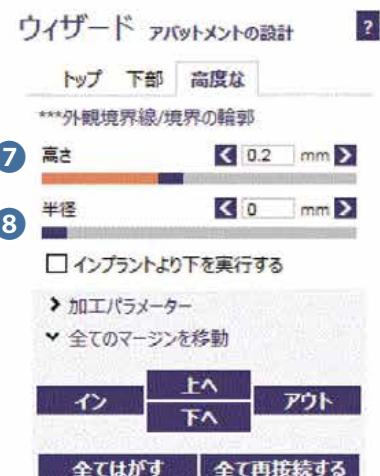
- ⑧「半径」：アバットメント下部の半径を設定



半径 : 0



半径 : 1

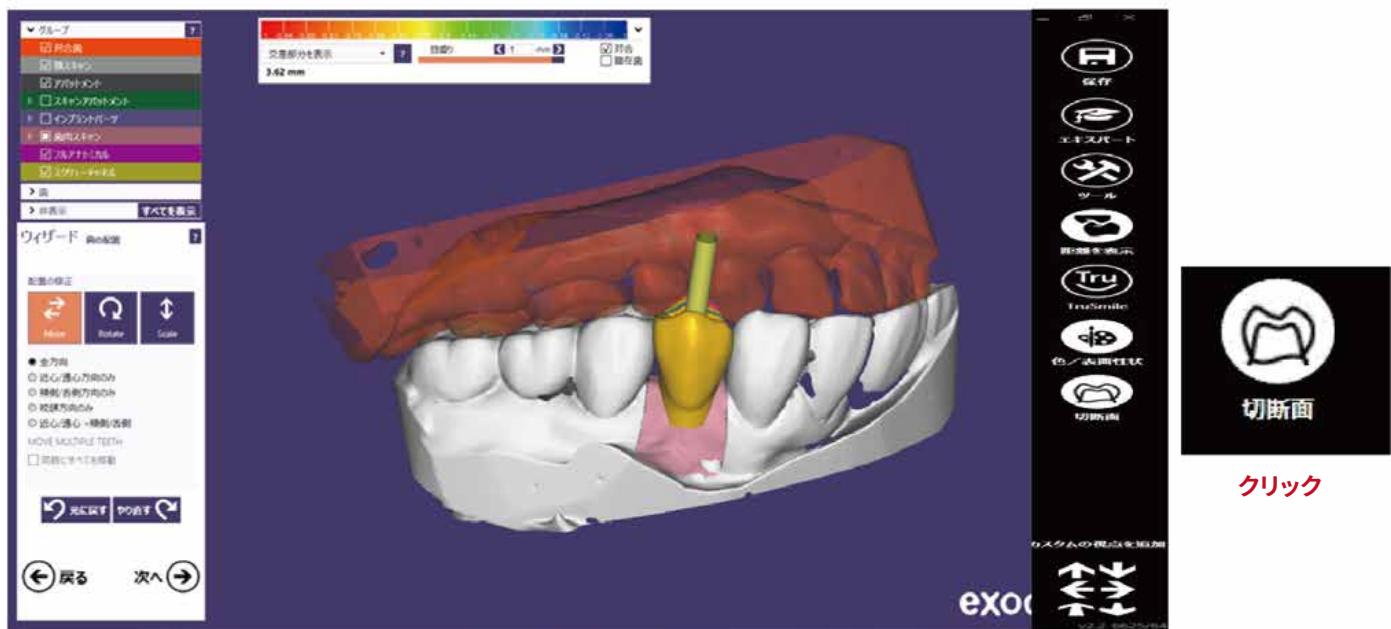


← 戻る 次へ →

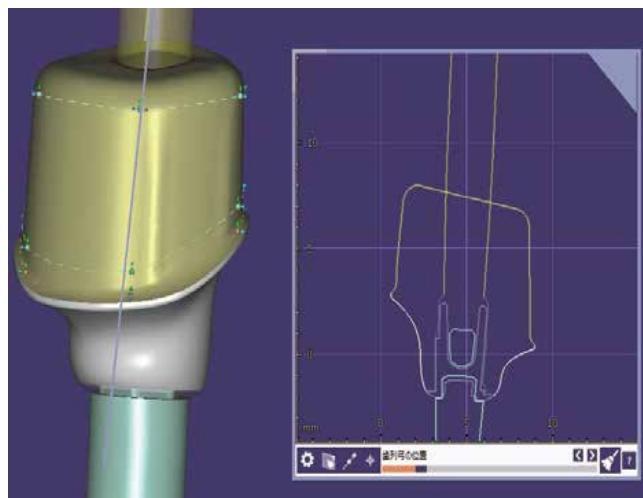
## アバットメントの外形調整(9p参照)



## 切断ビューで厚みをチェックしたい場合



クリック



カットビューモードに切り替わる

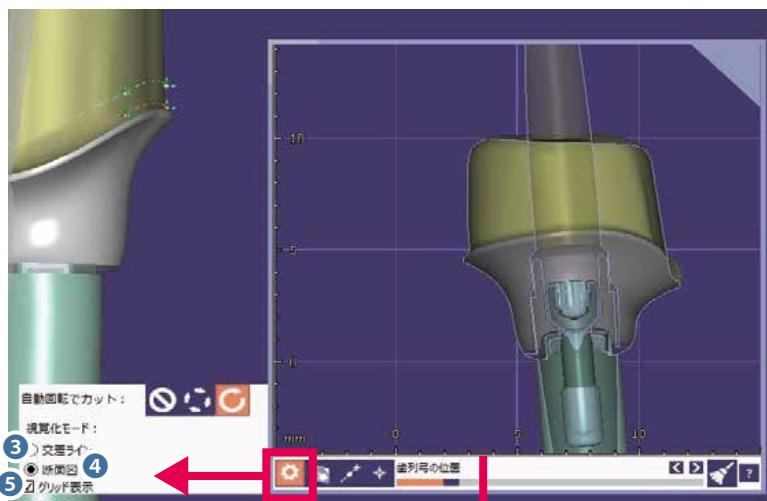
## ⑤ フルクラウンのデザイン



- ① 始点をクリック  
② 終点をクリックすると厚み(距離)を測定

距離を表示

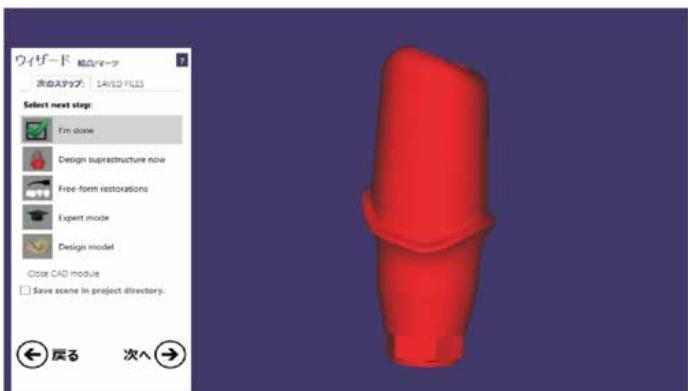
クリックするとメニューが表示



- ⑥：マウスカーソルでクリックした場所の断面を表示  
⑦：クリック(ポイントとポイント)で範囲指定した場所の断面を表示  
⑧：クリックすると、断面図と歯牙の方向をそろえて表示



完成(12p参照)



(CMFit-チタンアバットメント)

(Link-ジルコニアアバットメント)